

---

---

# 参 考 资 料

---

---

## 参 考 資 料 目 次

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 1 . 千葉市男女共同参画審議会委員の名簿 .....          | 1  |
| 2 . 答申までの経過 .....                    | 2  |
| 3 . 市民意識調査や統計資料等 .....               | 3  |
| (1) 男女平等と人権の尊重 .....                 | 3  |
| (2) 政策決定の過程における男女共同参画の推進 .....       | 7  |
| (3) 教育の分野における男女共同参画の推進 .....         | 9  |
| (4) 雇用の分野における男女共同参画の推進 .....         | 12 |
| (5) 自営の商工業や農林水産業の分野における男女共同参画の推進 ... | 18 |
| (6) 家庭生活と職場や地域の活動等を円滑に行えるような支援 ..... | 22 |
| (7) 男女共同参画を推進する民間団体との連携と支援 .....     | 28 |
| (8) 生涯にわたる心身の健康と性に関する理解への支援 .....    | 31 |

## 参考資料

### 1. 千葉市男女共同参画審議会委員の名簿

| 氏名      | 役職等                  | 当審議会<br>役職 |
|---------|----------------------|------------|
| 加賀美 幸子  | 千葉市女性センター名誉館長        |            |
| 柴 理子    | 東京情報大学総合情報学部情報文化学科講師 |            |
| 島崎 克美   | 千葉県弁護士会元副会長          |            |
| 杉本 明行   | 千葉市女性団体連絡会会長         |            |
| 杉山 賢治   | 連合千葉・千葉地域協議会 事務局次長   |            |
| 鈴木 庸夫   | 千葉大学法科大学院教授          | 会長         |
| 高木 惣太郎  | 千葉人権擁護委員             |            |
| 高橋 祥子   | 千葉みらい農業協同組合女性部長      | 副会長        |
| 高長谷 トミ子 | 千葉商工会議所女性会副会長        |            |
| 武田 祥子   | 千葉県予防衛生協会クリニック学術医療顧問 |            |
| 竹谷 正之   | (社)千葉県経営者協会専務理事      |            |
| 田那村 宇良子 | 国際ソロプチミスト千葉前会長       |            |
| 長島 繁正   | 千葉市町内自治会連絡協議会会長      |            |
| 永田 利臣   | 千葉市民生委員児童委員協議会会長     |            |
| 松尾 ひとみ  | 千葉市PTA連絡協議会副会長       |            |

(敬称略、五十音順)

## 2. 答申までの経過

平成 16 年

8 月 3 日 第 1 回千葉市男女共同参画審議会

- ・市長より、男女共同参画に関する計画について諮問される。
- ・男女共同参画に関する基本計画について、計画骨子案の策定経緯や内容について共通認識を図る。
- ・男女共同参画に関する基本計画骨子案と、市民意見の公募方法について審議する。

9 月 15 日～9 月 29 日

「男女共同参画に関する基本計画」に対する市民意見の募集

- ・計画の方向性について市民意見を募集する。
- ・募集方法：市政だより 9 月 15 日号や市ホームページでお知らせし、公共施設や図書館等でリーフレット 1,610 部を配布。ファックス、郵送、E-mail で受付。
- ・受付件数：24 件。

10 月 21 日 第 2 回千葉市男女共同参画審議会

- ・「男女共同参画に関する基本計画」に対する市民意見の結果を概観し、今後の検討方法を審議する。

11 月 22 日 第 3 回千葉市男女共同参画審議会

- ・市民意見と基本計画骨子案、統計資料等を踏まえて、基本計画に盛り込むべき具体的取り組みについて審議する（基本目標 1～4）。

12 月 13 日 第 4 回千葉市男女共同参画審議会

- ・市民意見と基本計画骨子案、統計資料等を踏まえて、基本計画に盛り込むべき具体的取り組みについて審議する（基本目標 5～8）。

1 月 25 日 第 5 回千葉市男女共同参画審議会

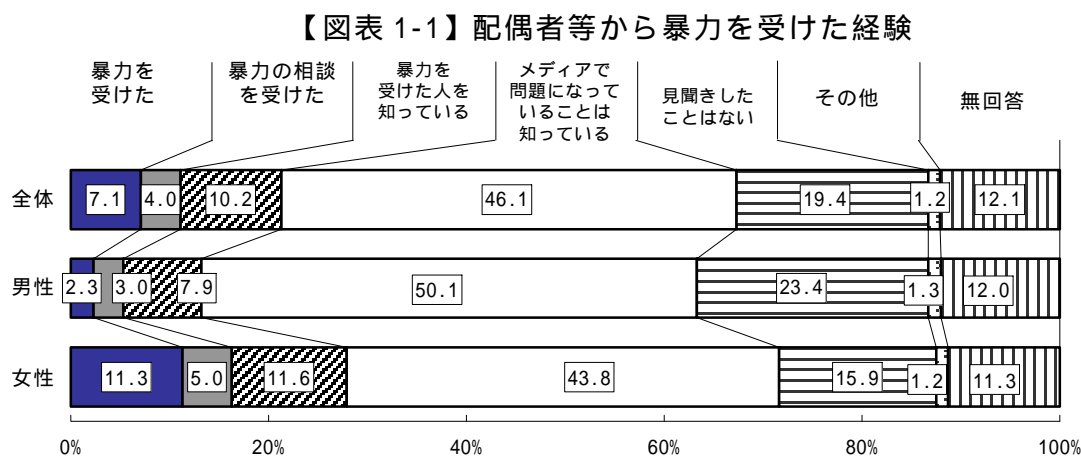
- ・これまでの審議結果を踏まえて、最終的な答申について審議する。

1 月 31 日 市長へ答申を提出

### 3. 市民意識調査や統計資料等

#### (1) 男女平等と人権の尊重

配偶者等から暴力を受けた経験は、男性が2.3%、女性が11.3%である。



資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成16年3月)

配偶者等からの暴力に関する相談件数は、「配偶者暴力防止法」施行後、増加した。

【図表 1-2】配偶者間暴力に関する相談件数(千葉市)

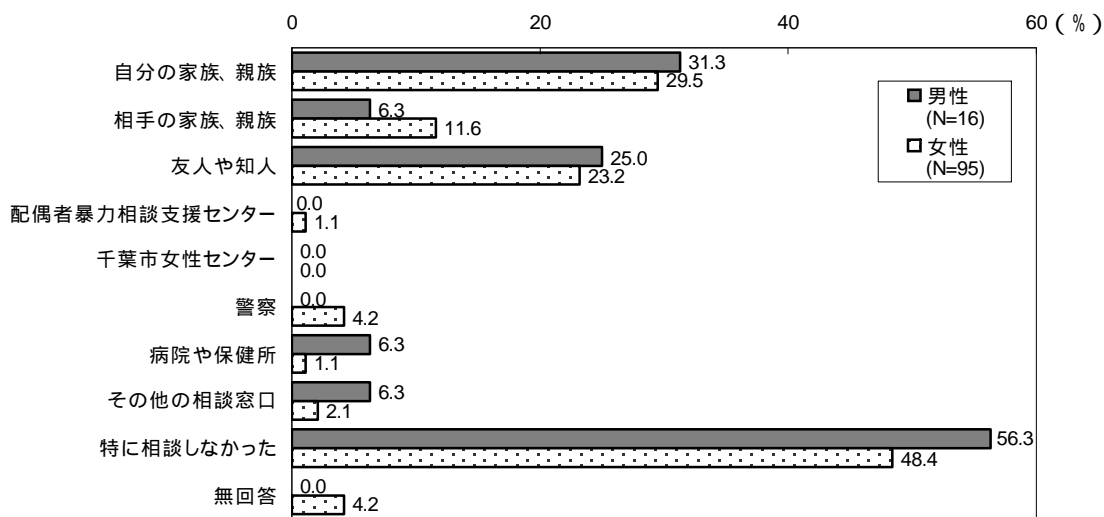
| 年 度    | 女性センター | 福祉事務所等 | 合計    |
|--------|--------|--------|-------|
| 平成11年度 | 74     | 65     | 139   |
| 平成12年度 | 208    | 134    | 342   |
| 平成13年度 | 258    | 212    | 470   |
| 平成14年度 | 358    | 672    | 1,030 |
| 平成15年度 | 315    | 470    | 785   |

13年10月より法律施行

福祉事務所等には、地域振興課・男女共同参画苦情処理相談室を含む。

配偶者等から暴力を受けた人のうち、特に相談しなかった人が最も多い。

【図表 1-3】配偶者等から暴力を受けたことに関する相談の有無



資料)「千葉県男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

男性の 2%、女性の約 3 割がセクシュアル・ハラスメントを受けたことがある。  
特に、20・30 歳代の女性の被害者は 4 割を超えている。

【図表 1-4】セクシュアル・ハラスメントを受けた経験

|       |       | 受けたことがある | 見たことがある | 見たこともない | わからない | 無回答  |
|-------|-------|----------|---------|---------|-------|------|
| (%)   |       |          |         |         |       |      |
| 性別    | 全体    | 16.6     | 21.4    | 48.0    | 13.1  | 4.5  |
|       | 男性    | 2.0      | 27.1    | 53.0    | 15.3  | 3.4  |
|       | 女性    | 29.2     | 17.1    | 43.7    | 11.2  | 5.1  |
| 女性年代別 | 20歳代  | 42.3     | 19.8    | 37.8    | 10.8  | -    |
|       | 30歳代  | 42.5     | 14.4    | 39.2    | 9.8   | 2.0  |
|       | 40歳代  | 37.3     | 20.4    | 38.0    | 11.3  | 2.1  |
|       | 50歳代  | 25.5     | 16.5    | 46.5    | 11.5  | 5.0  |
|       | 60歳代  | 14.5     | 13.8    | 52.8    | 11.9  | 8.2  |
|       | 70歳以上 | 9.0      | 20.5    | 44.9    | 11.5  | 17.9 |

資料)「千葉県男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

「男女雇用機会均等法」に基づく行政指導は全国で 6,000 件弱実施されており、そのうちセクシュアル・ハラスメント関連が約 9 割を占めている。

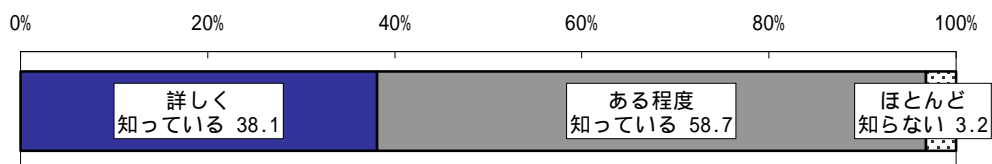
【図表 1-5】「男女雇用機会均等法」第 25 条に基づく行政指導の状況（全国）

|        | セクハラ防止対策<br>関係の行政指導件数<br>(件) | 男女雇用機会均等法に<br>基づく行政指導のうち<br>セクハラ防止対策関係<br>が占める割合<br>(%) |
|--------|------------------------------|---|
| 平成11年度 | 5,626                        | 78.4  |
| 平成12年度 | 5,239                        | 86.9  |
| 平成13年度 | 5,798                        | 90.2  |
| 平成14年度 | 4,975                        | 91.3  |
| 平成15年度 | 5,190                        | 92.3  |

資料) 厚生労働省発表。セクハラ防止対策関係とは法第 21 条関係を指す。

セクハラについて詳しく知っている市内事業所は約 4 割である。

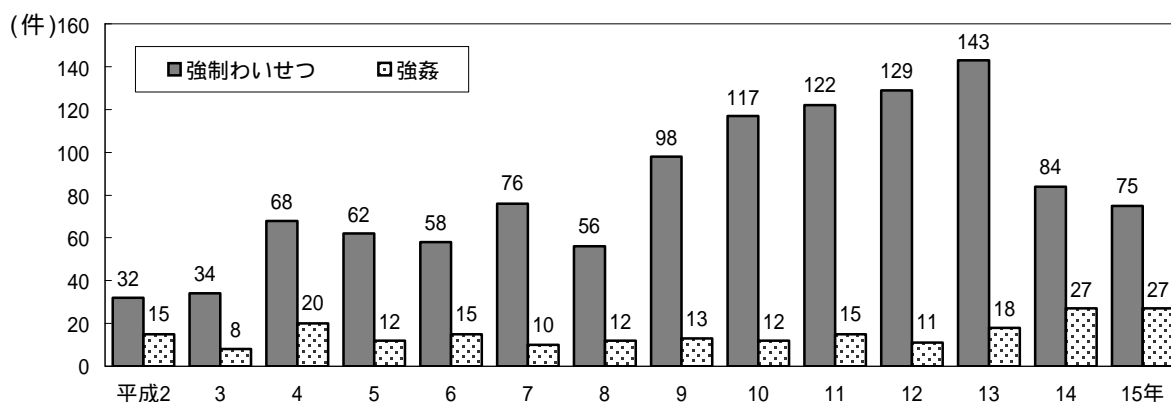
【図表 1-6】セクハラに対する市内事業所の認知度



資料) 「千葉市の労働概要(事業所調査)」(平成 14 年度)

強制わいせつ認知件数は増加傾向にあったが、平成 13 年の 143 件を境に減少に転じた。

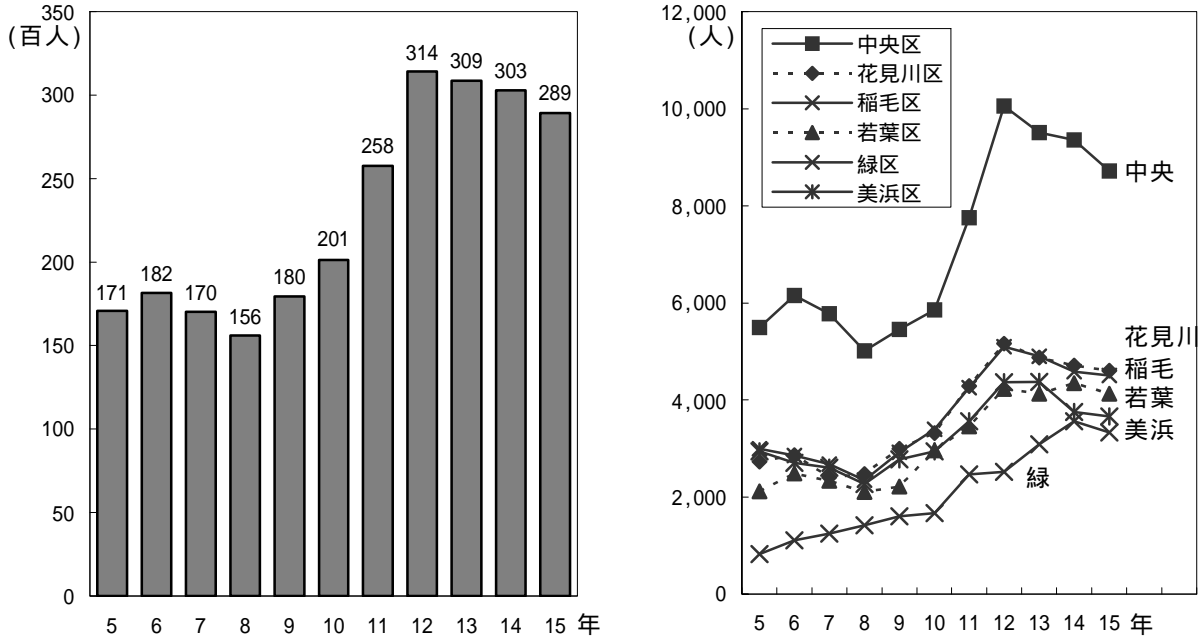
【図表 1-7】強制わいせつ・強姦の認知件数（千葉市）



資料) 千葉県警察本部発表

刑法犯認知件数は中央区が最も多く、緑区では10年前の約4倍に急増している。

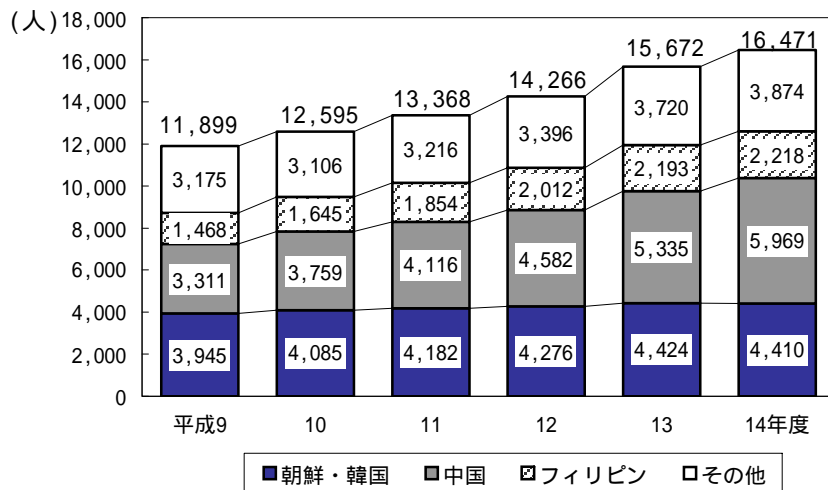
【図表 1-8】 刑法犯認知件数（千葉市全体） 【図表 1-9】 刑法犯認知件数（区別）



資料) 千葉県警察本部発表

外国人登録人口は年々増加している。

【図表 1-10】 外国人登録人口の推移（千葉市）



資料) 千葉市「千葉市統計書」を基に作成



(2) 政策決定の過程における男女共同参画の推進

政策決定の場において男女半々になってほしいと考えている人は約6割いる。

【図表 2-1】政策決定の場への女性の参画についての考え方

| （％） |    | 増ほ男性を上回る女性にしたい | 男女半々にしたい | 今のままでよい | 今より女性が少なくてもよい | わからない | その他 | 無回答 |
|-----|----|----------------|----------|---------|---------------|-------|-----|-----|
| 全体  |    | 5.9            | 57.4     | 15.4    | 1.4           | 12.0  | 5.5 | 2.5 |
| 性別  | 男性 | 5.0            | 51.1     | 20.8    | 2.0           | 11.2  | 7.9 | 2.0 |
|     | 女性 | 6.5            | 63.6     | 10.8    | 0.8           | 12.5  | 3.7 | 2.1 |

資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成16年3月)

市議会議員の女性割合は、他の政令指定都市等と比べて高い水準にある。

【資料 2-2】議会議員の女性割合の比較

|            | 千葉市議会   |         |         | 政令指定都市議会 |         |         | 県内市議会   |         |         | 千葉県議会   |         |         |
|------------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|            | 議員総数(人) | うち女性(人) | 女性割合(%) | 議員総数(人)  | うち女性(人) | 女性割合(%) | 議員総数(人) | うち女性(人) | 女性割合(%) | 議員総数(人) | うち女性(人) | 女性割合(%) |
| 平成13年3月31日 | 55      | 12      | 21.8    | 838      | 125     | 14.9    | 936     | 110     | 11.8    | 98      | 9       | 9.2     |
| 平成14年3月31日 | 54      | 13      | 24.1    | 838      | 126     | 15.0    | 972     | 122     | 12.6    | 98      | 9       | 9.2     |
| 平成15年3月31日 | 56      | 13      | 23.2    | 934      | 136     | 14.6    | 969     | 126     | 13.0    | 95      | 9       | 9.5     |

資料)内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

附属機関等委員や市管理職の女性割合が、他の政令指定都市と比べて低い。

【図表 2-3】 附属機関等委員への女性登用率の比較（政令指定都市）

(%)

|          | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 目標値                   |
|----------|--------|--------|--------|-----------------------|
| 政令指定都市   | 25.8   | 26.0   | 27.2   | -                     |
| 1 横浜市    | 29.8   | 30.8   | 31.8   | 35%(H18)              |
| 2 大阪市    | 28.5   | 28.9   | 30.7   | 35%(H17)              |
| 3 札幌市    | 26.6   | 26.6   | 29.7   | 40%(H24、早期達成)         |
| 4 北九州市   | 28.2   | 27.3   | 29.1   | 40%(H20)              |
| 5 仙台市    | 26.1   | 27.2   | 28.6   | 35%以上(H20)            |
| 6 福岡市    | 26.9   | 28.5   | 28.5   | 30%(H17)、35%(H22)     |
| 7 神戸市    | 26.2   | 26.6   | 27.8   | 30%(H19)              |
| 8 川崎市    | 24.1   | 26.0   | 27.1   | 35%(H20)              |
| 9 広島市    | 24.5   | 24.7   | 26.9   | 30%以上(H19)、35%以上(H22) |
| 10 京都市   | 25.8   | 24.6   | 26.8   | 35%(H22、男女いずれも)       |
| 11 さいたま市 | -      | 22.1   | 23.5   | 35%(H20)              |
| 12 千葉市   | 19.8   | 22.3   | 22.7   | 30%(H22)              |
| 13 名古屋市  | 22.8   | 20.0   | 21.0   | 30%(H17)、40%(H22)     |

資料) 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」平成15年度における女性登用率の高い順。

参考) 千葉市 23.7% (平成16年8月1日時点)

【図表 2-4】 女性管理職（本庁課長相当職）登用率の比較（政令指定都市）

(%)

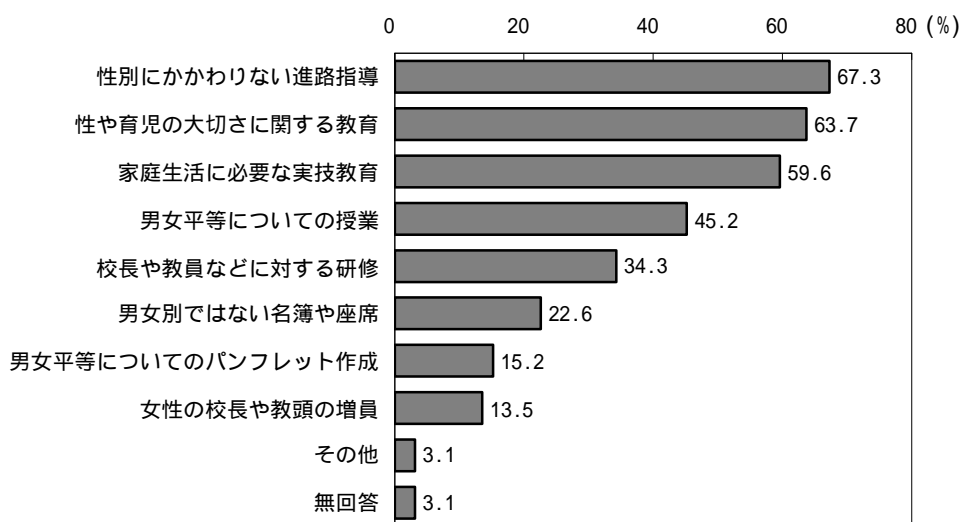
|         | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| 政令指定都市  | 4.9    | 5.0    | 4.8    |
| 1 大阪市   | 7.0    | 6.5    | 6.6    |
| 2 さいたま市 | -      | 7.7    | 6.4    |
| 3 横浜市   | 6.1    | 5.4    | 5.9    |
| 4 広島市   | 4.7    | 5.2    | 5.7    |
| 5 京都市   | 5.8    | 5.8    | 5.4    |
| 6 仙台市   | 4.6    | 4.6    | 4.9    |
| 7 神戸市   | 2.4    | 2.7    | 3.6    |
| 8 札幌市   | 6.2    | 7.1    | 3.4    |
| 8 福岡市   | 3.2    | 3.6    | 3.4    |
| 10 川崎市  | 3.1    | 3.1    | 3.3    |
| 11 名古屋市 | 1.9    | 2.7    | 3.1    |
| 12 千葉市  | 1.4    | 1.4    | 2.0    |
| 13 北九州市 | 2.5    | 2.5    | 1.9    |

資料) 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」平成15年度における女性登用率の高い順。

(3) 教育の分野における男女共同参画の推進

「児童や生徒に応じた進路指導」や「性や育児の大切さに関する教育」の重要性が高い。

【図表 3-1】学校教育の分野で大切なこと



資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

息子には「責任感のある人」、娘には「思いやりのある人」を望む。

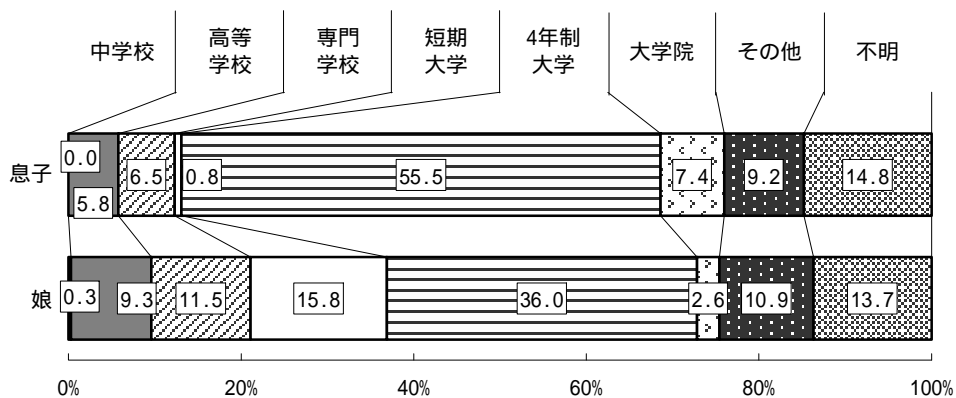
【図表 3-2】親が望む息子や娘の育ち方 (%)

|            |                  | 息子          | 娘           | 息子と娘の差 |
|------------|------------------|-------------|-------------|--------|
| 息子に期待する育ち方 | 責任感のある人          | <u>55.7</u> | 20.4        | 35.3   |
|            | 決断力のある人          | 19.2        | 1.7         | 17.5   |
|            | 経済力のある人          | 16.3        | 2.6         | 13.7   |
|            | 人望の厚い人           | 12.8        | 2.0         | 10.8   |
|            | 我慢強い人            | 11.1        | 5.2         | 5.9    |
|            | 指導力のある人          | 5.5         | 0.3         | 5.2    |
|            | 自分のことは自分でする自立した人 | 19.8        | 14.9        | 4.9    |
|            | 知性的な人            | 4.7         | 3.5         | 1.2    |
| 娘に期待する育ち方  | 社会的地位のある人        | 0.0         | 0.0         | 0.0    |
|            | 協調性のある人          | 9.3         | 9.9         | -0.6   |
|            | 親を大切にする人         | 16.9        | 21.0        | -4.1   |
|            | 情緒豊かな人           | 5.2         | 16.6        | -11.4  |
|            | 正しい言葉や礼儀を身に付けた人  | 4.1         | 17.2        | -13.1  |
|            | 家事ができる人          | 1.5         | 15.7        | -14.2  |
|            | 家庭を大事にする人        | <u>21.3</u> | <u>36.2</u> | -14.9  |
|            | 素直な人             | 8.7         | <u>25.7</u> | -17.0  |
|            | 思いやりのある人         | 29.4        | <u>53.4</u> | -24.0  |

資料)「家庭におけるジェンダー意識に関する調査」(平成 14 年 3 月)。下線部は性別の上位 3 項目。

親が子に望む学歴は、男女で差がみられる。

【図表 3-3】親が望む息子や娘の最終学歴

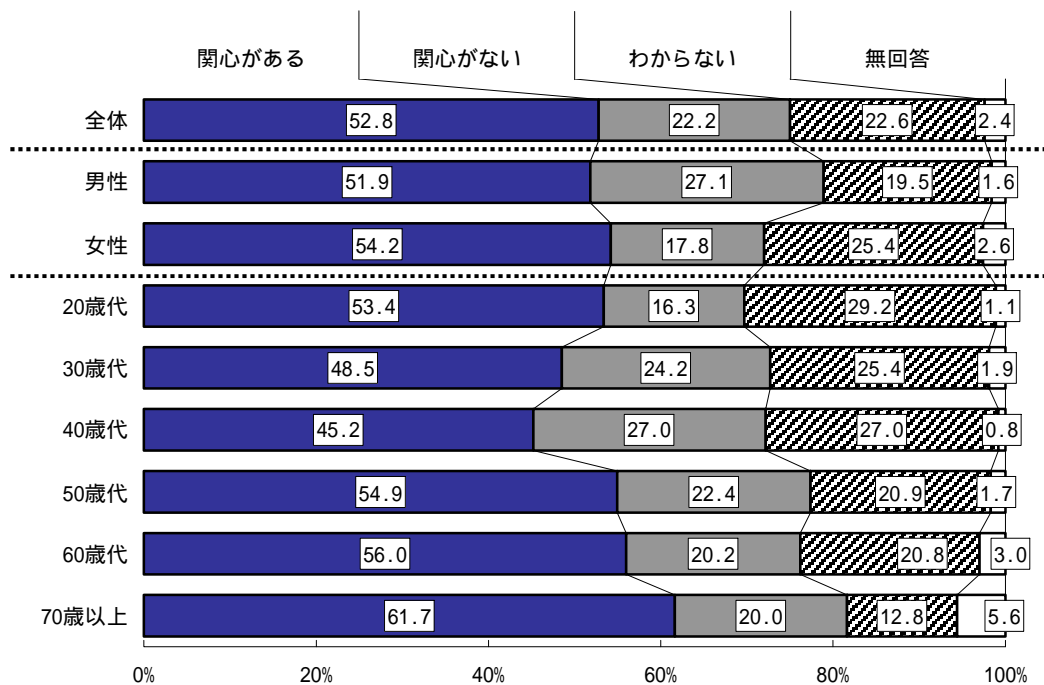


資料) 千葉市女性センター「家庭におけるジェンダー意識に関する調査」(平成 14 年 3 月)

男女平等や男女共同参画への関心は、男女ともに約 5 割となっている。

30 歳代と 40 歳代は、他の年代に比べ関心が低い。

【図表 3-4】男女平等や男女共同参画への関心度



資料) 「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

友人や家族の間で男女平等について話し合い等したことがある人が多い。

話し合い等をしたことのない人は男性の方が多く、また年代が高いほど多い。

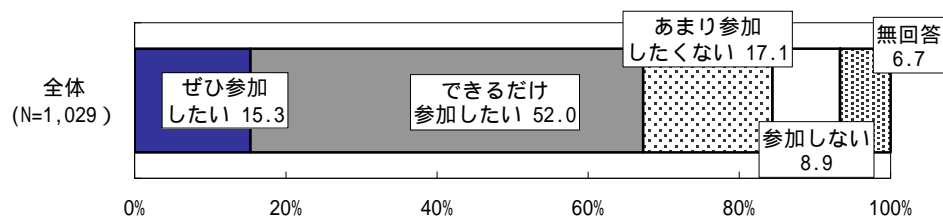
【図表 3-5】男女平等や男女共同参画に関する話し合いや学習経験の有無

|             |       | 友人どうし<br>で話した | 配偶者や<br>恋人の<br>間で話した | 親子で<br>話した | 職場や<br>労働組合<br>で話した | 学校で<br>話したり<br>学習した | 女性セ<br>ンター<br>や公民<br>館など<br>の講座<br>に参加<br>した | 話しあ<br>ったり<br>学習<br>したこ<br>とはな<br>い | その他 | 無回<br>答 |
|-------------|-------|---------------|----------------------|------------|---------------------|---------------------|--|-------------------------------------|-----|---------|
| (%)         |       |               |                      |            |                     |                     |  |                                     |     |         |
| 性<br>別      | 全体    | 36.5          | 29.4                 | 23.1       | 15.9                | 8.4                 | 3.3  | 32.5                                | 2.0 | 2.6     |
|             | 男性    | 26.2          | 28.4                 | 17.0       | 20.2                | 7.3                 | 1.4  | 39.3                                | 1.7 | 2.6     |
|             | 女性    | 45.7          | 31.3                 | 28.2       | 12.6                | 9.8                 | 4.9  | 26.8                                | 2.4 | 2.0     |
| 年<br>代<br>別 | 20歳代  | 40.4          | 32.0                 | 23.0       | 15.2                | 36.0                | 1.1  | 18.5                                | -   | 1.1     |
|             | 30歳代  | 33.5          | 38.8                 | 20.8       | 17.3                | 9.6                 | 2.3  | 31.2                                | 2.7 | 0.8     |
|             | 40歳代  | 33.5          | 33.9                 | 22.2       | 23.8                | 7.3                 | 2.0  | 29.0                                | 2.0 | -       |
|             | 50歳代  | 37.5          | 30.5                 | 28.5       | 16.0                | 4.1                 | 4.4  | 33.7                                | 2.3 | 1.2     |
|             | 60歳代  | 41.1          | 23.8                 | 21.4       | 13.1                | 2.1                 | 4.8  | 35.7                                | 1.2 | 3.9     |
|             | 70歳以上 | 34.4          | 19.4                 | 20.6       | 10.0                | 3.3                 | 4.4  | 43.3                                | 4.4 | 8.3     |

資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

千葉市が行う生涯学習への参加意向のある人は、約 7 割である。

【図表 3-6】千葉市の生涯学習事業への参加意向

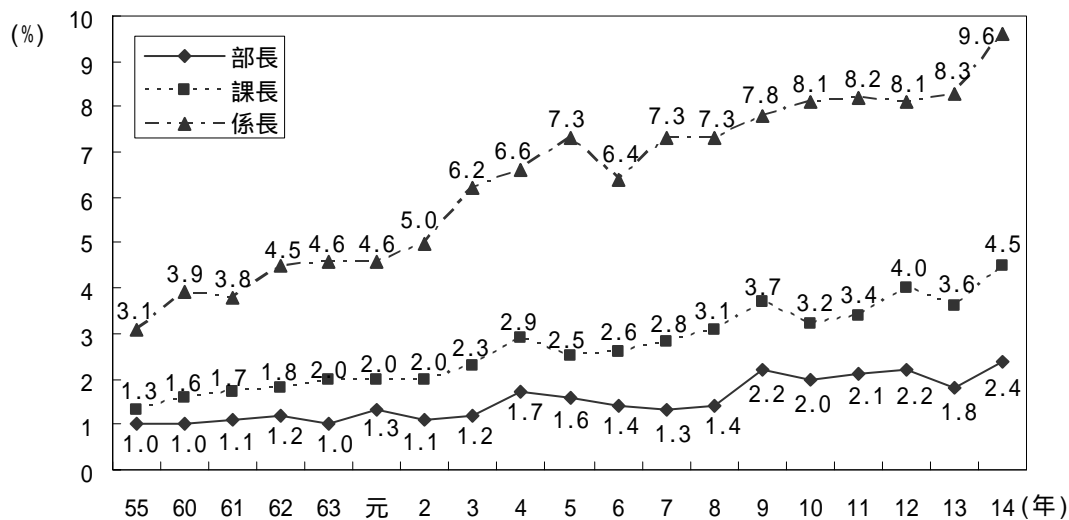


資料)千葉市教育委員会「千葉市生涯学習基礎調査」(平成 12 年 3 月)

(4) 雇用の分野における男女共同参画の推進

役職者に占める女性の割合は増加傾向にあるが、低い水準で推移している。

【図表 4-1】役職者に占める女性割合の推移（産業計、企業規模 100 人以上、学歴計）



資料) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」( 財団法人 21 世紀職業財団「平成 14 年版女性労働白書」)

一般女性の賃金は、一般男性の賃金の約 7 割の水準である。

【図表 4-2】職種別賃金の推移（千円/月）

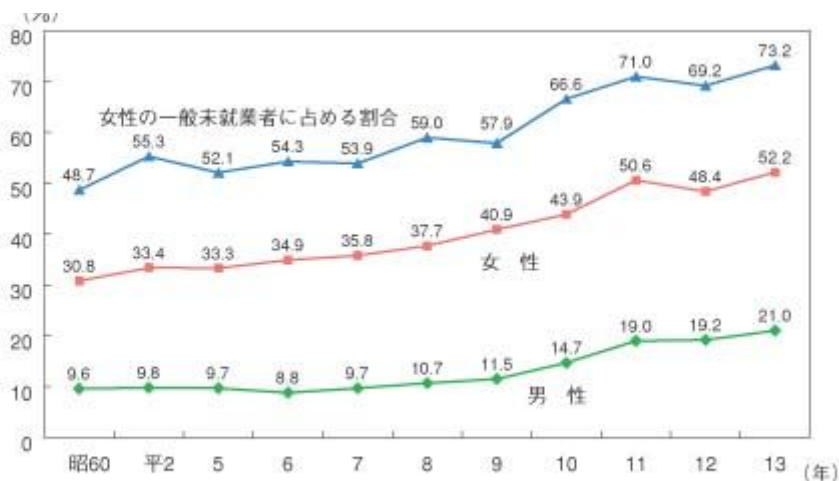
|                                  | H5   | H7   | H9   | H11  | H14  |
|----------------------------------|------|------|------|------|------|
| 全職員                              | 302  | 305  | 317  | 329  | 332  |
| 役付                               | 427  | 444  | 455  | 467  | 467  |
| 一般男子                             | 296  | 292  | 308  | 315  | 312  |
| 一般女子                             | 184  | 193  | 204  | 216  | 226  |
| 「一般男子賃金 = 100.0」<br>としたときの一般女子賃金 | 62.2 | 66.1 | 66.2 | 68.6 | 72.4 |

資料) 千葉市「千葉市の労働概要」

参考) 平成 14 年度調査における職員の平均年齢は、役付が 48 歳、  
一般男子・女子がともに 39 歳である。

パートタイム労働者として働く女性が増えている。

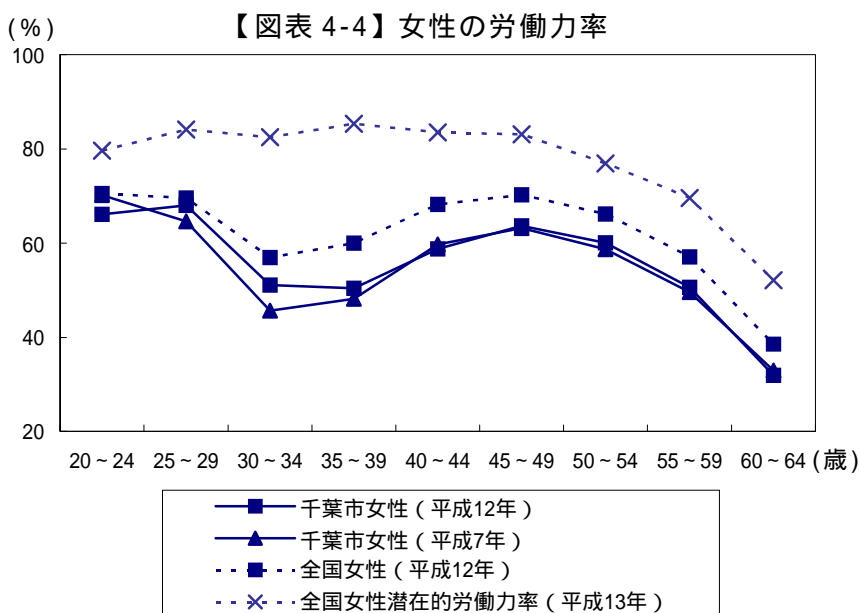
【図表 4-3】入職者に占めるパートタイム労働者の割合の推移（全国）



(備考) 1. 厚生労働省「雇用動向調査」より作成。  
 2. 女性の一般未就業者に占める割合 =  $\frac{\text{女性の一般未就業からのパートタイム入職者}}{\text{女性の一般未就業からの全入職者}} \times 100$

女性の潜在的労働力率は台形を描いているが、実際の女性労働力率は育児期にあたる30歳代前半を底にM字曲線を描いている。

千葉市の合計特殊出生率は、国や県を下回っている。



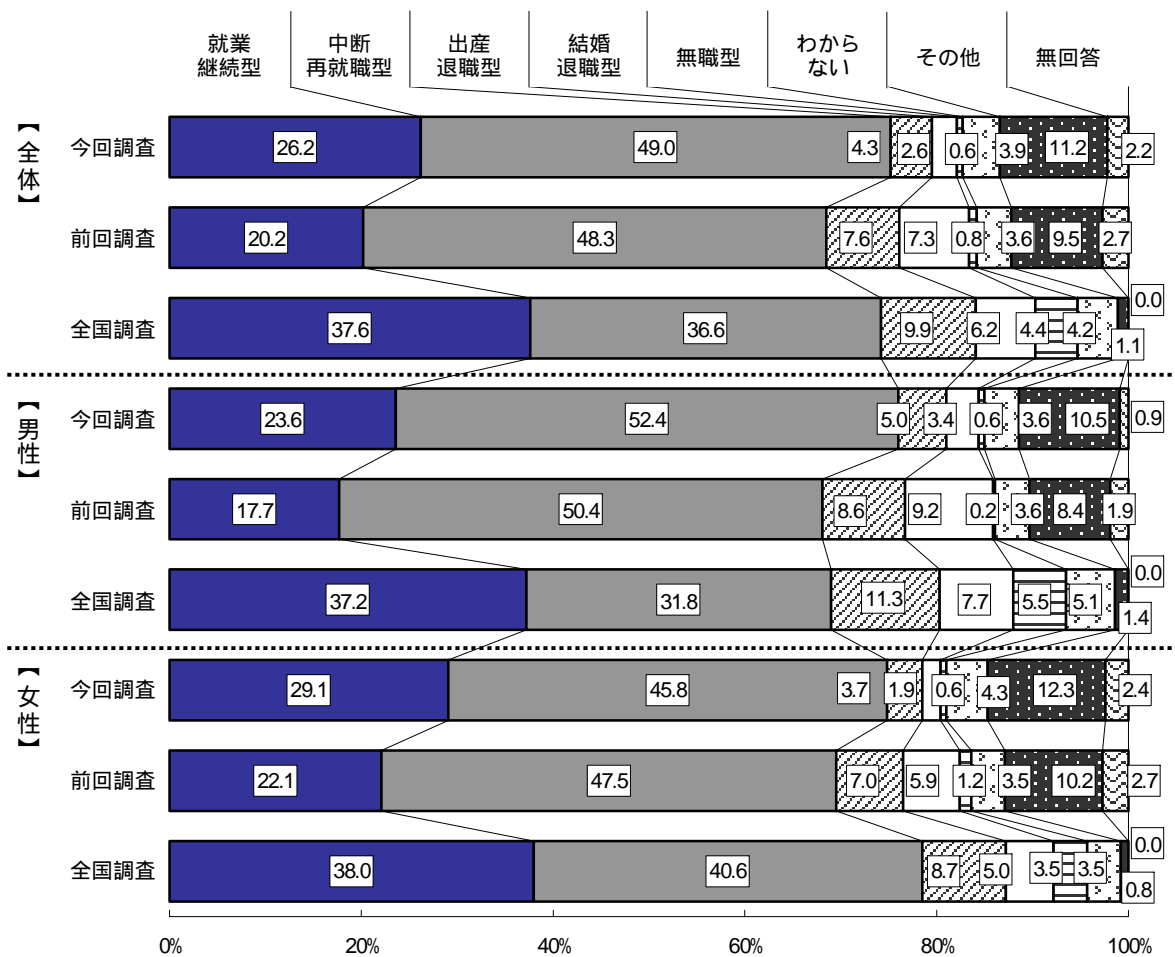
資料) 総務省「国勢調査」  
 厚生労働省「労働力調査特別調査」

潜在的労働力率 =  $\frac{\text{労働力人口} + \text{非労働力人口のうち就業希望者}}{\text{15歳以上人口}}$

平成 11 年度の調査と比べて、結婚や育児で就業を中断せず、就業を継続することが望ましいと考える人が増えている。

他方、全国と比べると、結婚や育児で退職した後、再就職する働き方（中断再就職型）が望ましいと考える人が多い。

【図 4-5】女性に対する職業観

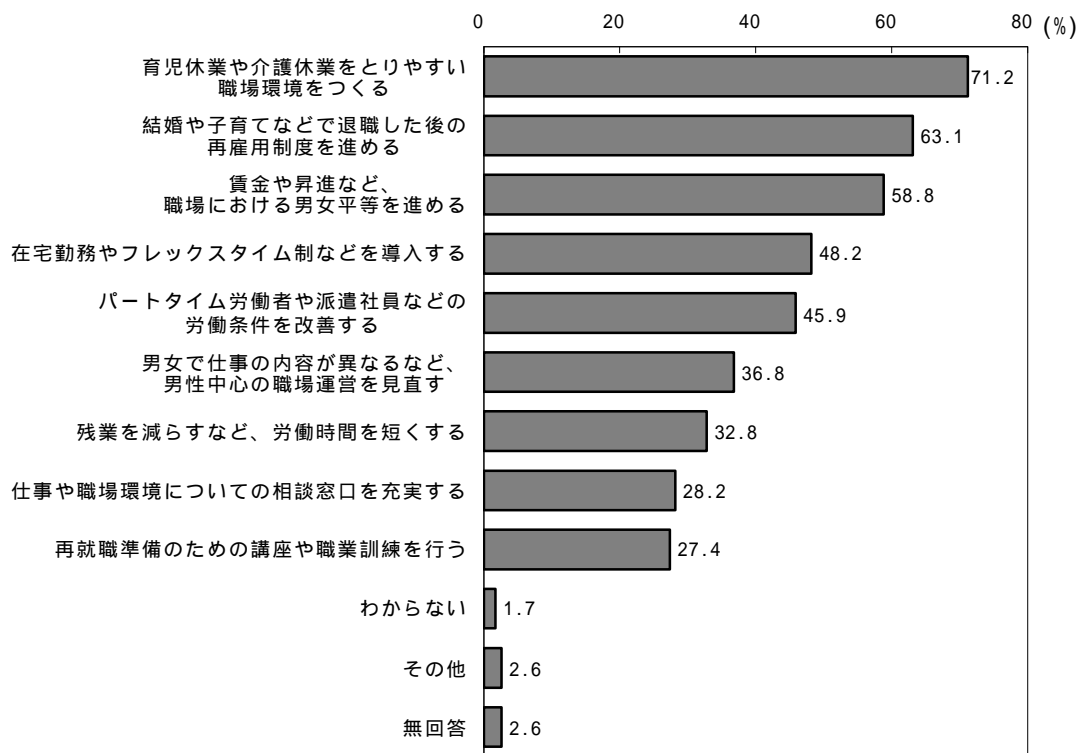


資料)「千葉県男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)



育児休業や介護休業をとりやすい環境づくりが最も大切だと考える人が多い。

【図表 4-6】男女ともに働きやすい職場づくりに大切なこと



資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

意欲の能力のある女性が役職に就いて欲しいと考える人が約 8 割いる一方、女性の役職登用には子育てや介護等の負担、経験不足が障害だと考える人が約 2～3 割いる。特に管理職では経験や能力の不足をあげる人が 4 割と多い。

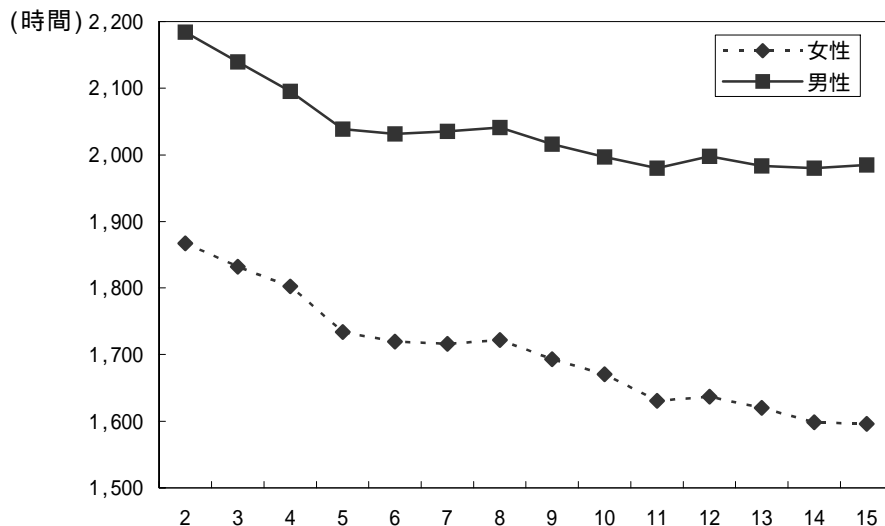
【図表 4-7】女性が役職に就くことについての考え方

|     |       | 合計    | 意欲と能力のある女性の役職登用 | 女性の多い職場等における役職登用 | 家事や子育て、介護等が負担 | 女性の経験・能力不足 | 自分の上司は男性がよい | その他 | 無回答 |
|-----|-------|-------|-----------------|------------------|---------------|------------|-------------|-----|-----|
| (%) |       |       |                 |                  |               |            |             |     |     |
| 性別  | 全体    | 100.0 | 79.8            | 46.6             | 34.5          | 23.3       | 9.3         | 2.9 | 1.9 |
|     | 男性    | 100.0 | 76.4            | 46.3             | 25.2          | 31.1       | 10.6        | 2.1 | 1.1 |
|     | 女性    | 100.0 | 83.4            | 47.8             | 42.7          | 16.5       | 7.6         | 3.6 | 1.9 |
| 年代別 | 20歳代  | 100.0 | 85.4            | 45.5             | 34.8          | 12.4       | 10.7        | 5.1 | 0.6 |
|     | 30歳代  | 100.0 | 83.8            | 41.9             | 37.3          | 17.7       | 8.1         | 4.6 | 0.8 |
|     | 40歳代  | 100.0 | 82.7            | 49.2             | 34.7          | 25.4       | 8.5         | 3.6 | 0.8 |
|     | 50歳代  | 100.0 | 78.8            | 48.5             | 35.5          | 21.8       | 9.0         | 1.5 | 0.6 |
|     | 60歳代  | 100.0 | 80.1            | 47.0             | 32.4          | 29.5       | 8.9         | 1.8 | 1.5 |
|     | 70歳以上 | 100.0 | 70.0            | 50.6             | 34.4          | 28.9       | 9.4         | 2.2 | 6.7 |
| 職業別 | 事業主   | 100.0 | 81.5            | 44.6             | 35.4          | 27.7       | 9.2         | 1.5 | -   |
|     | 家族従業者 | 100.0 | 68.8            | 50.0             | 56.3          | 15.6       | 12.5        | 9.4 | -   |
|     | 自由業   | 100.0 | 74.2            | 51.6             | 29.0          | 29.0       | 6.5         | 3.2 | -   |
|     | 管理職   | 100.0 | 76.8            | 47.0             | 23.2          | 39.7       | 8.6         | 2.0 | 0.7 |
|     | 一般社員  | 100.0 | 81.9            | 42.6             | 26.1          | 19.5       | 10.4        | 4.1 | -   |
|     | パート等  | 100.0 | 80.7            | 52.5             | 38.9          | 16.4       | 9.4         | 2.5 | 0.8 |
|     | 派遣社員  | 100.0 | 80.0            | 56.9             | 56.9          | 29.2       | 9.2         | 4.6 | 1.5 |
|     | 専業主婦  | 100.0 | 84.2            | 48.7             | 45.3          | 19.5       | 6.4         | 1.3 | 2.0 |
|     | 学生    | 100.0 | 93.5            | 45.2             | 22.6          | 6.5        | 9.7         | 9.7 | -   |
| 無職  | 100.0 | 76.7  | 44.9            | 31.4             | 28.0          | 10.2       | 2.5         | 4.7 |     |

資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

労働時間は減少傾向にあるものの、男性は依然として年間総実労働時間 2,000 時間を  
超えている。

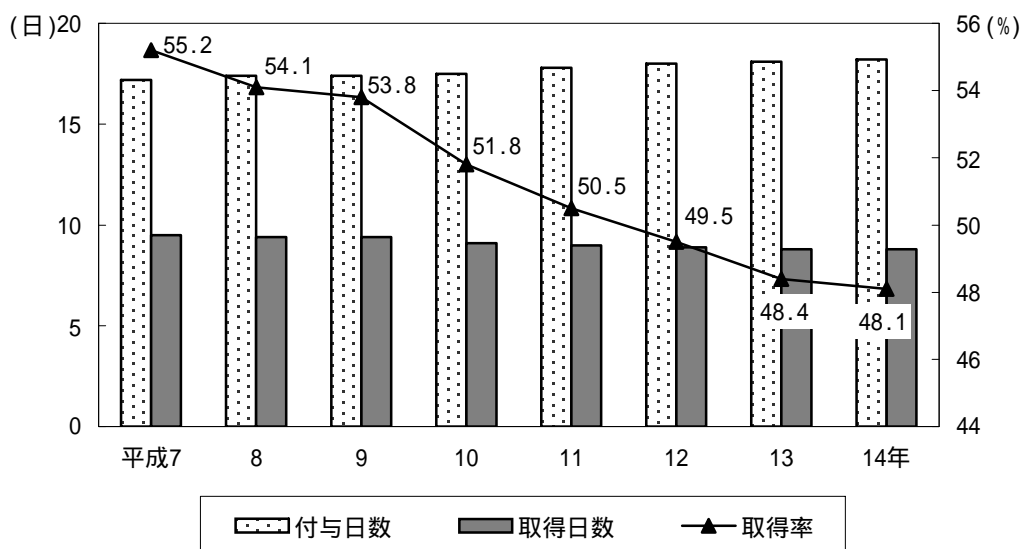
【図表 4-8】常用労働者 1 人平均年間総実労働時間数（全国）



資料) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(総実労働時間 = 所定内労働時間 + 所定外労働時間)

有給休暇の取得率が、付与日数の増加と取得日数の減少に伴い、低下傾向にある。

【図表 4-9】労働者一人平均年次有給休暇の付与日数、取得日数、取得率（全国）

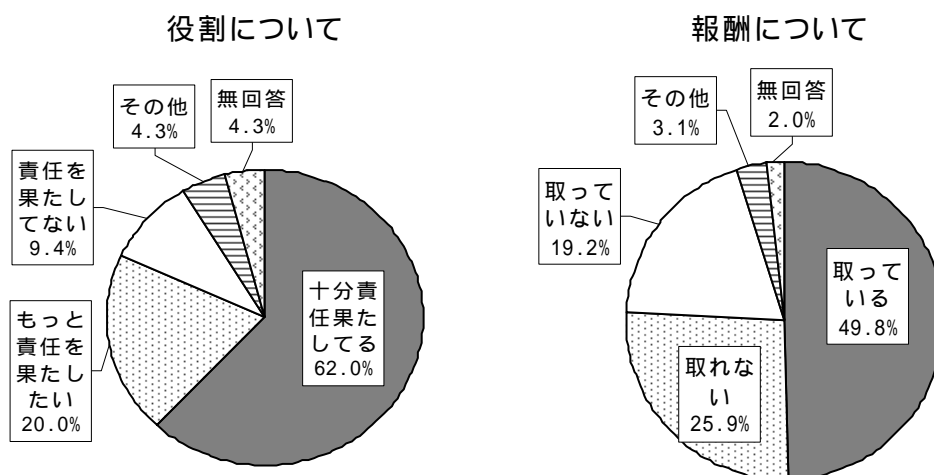


資料) 厚生労働省「就労条件総合調査」、「賃金労働時間制度等総合調査」

(5) 自営の商工業や農林水産業の分野における男女共同参画の推進

自営の商工業者の妻のうち、自分の役割について「責任を果たしている」女性は6割。  
報酬については「取っていない」女性は5割を占める。

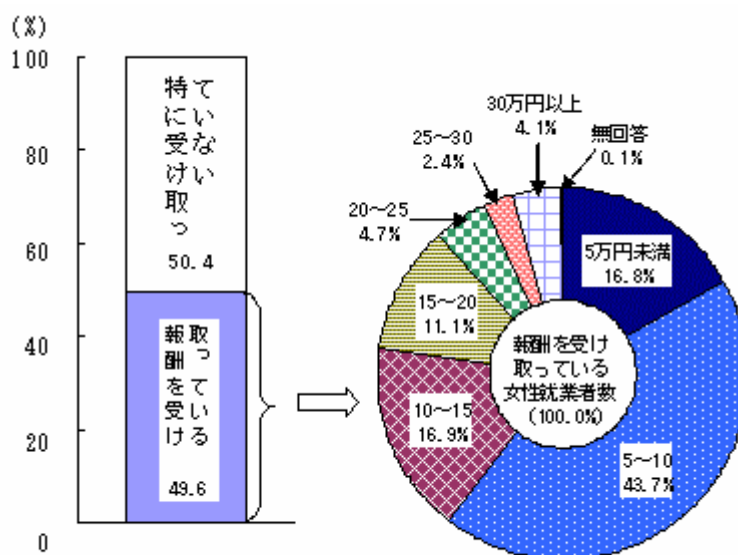
【図表 5-1】自営の商工業者の妻の役割と報酬（家族従業者・共同経営者対象）



資料) 全商連婦人部協議会「全国業者婦人の実態調査」(2000年) 千葉県会員分の集計結果

自営農業に従事している女性のうち、報酬を「受け取っていない」のは5割である。

【図表 5-2】労働報酬受け取り形態別割合（1か月平均の給与・報酬金額割合）

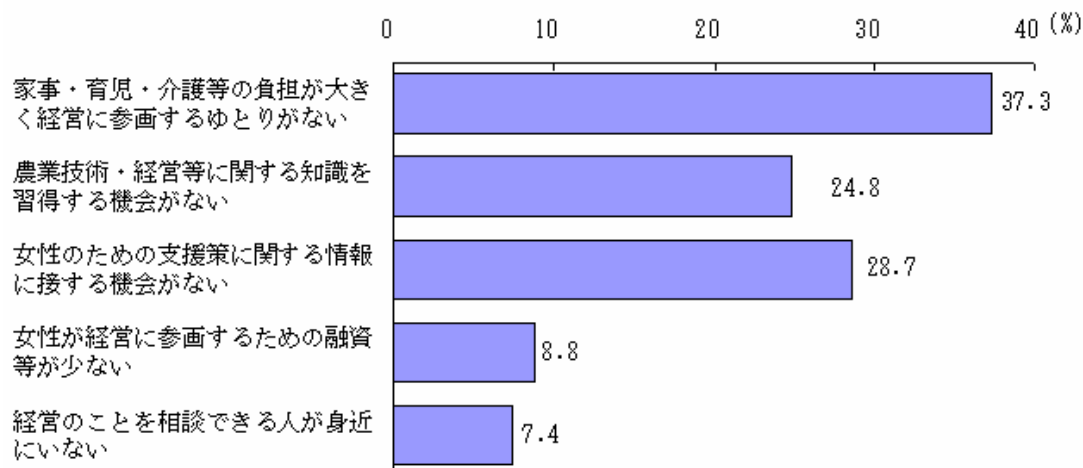


過去1年間に自営農業に60日以上従事している女性(以下「女性就業者」という。)のいる農家のうち、女性就業者が責任をもって担当している部門がある農家は70.6%である。

資料) 農林水産省「農業構造動態調査」(平成15年)

女性の経営参画に際し、家事や育児、介護等の負担が大きいと感じられている。

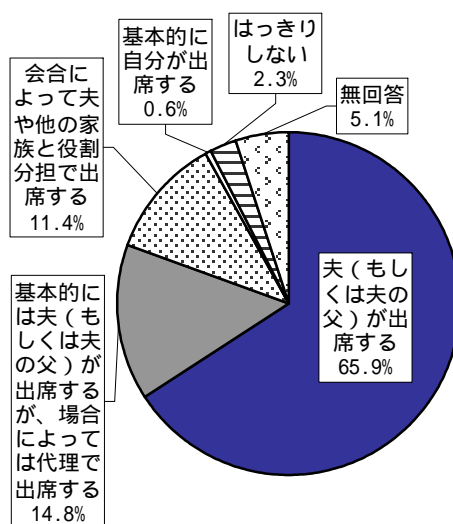
【図表 5-3】女性が経営参画する上での課題



資料) 農林水産省「農業構造動態調査」(平成 15 年)

農業生産や生活に関わる会合には、主に男性が参加することが多い。

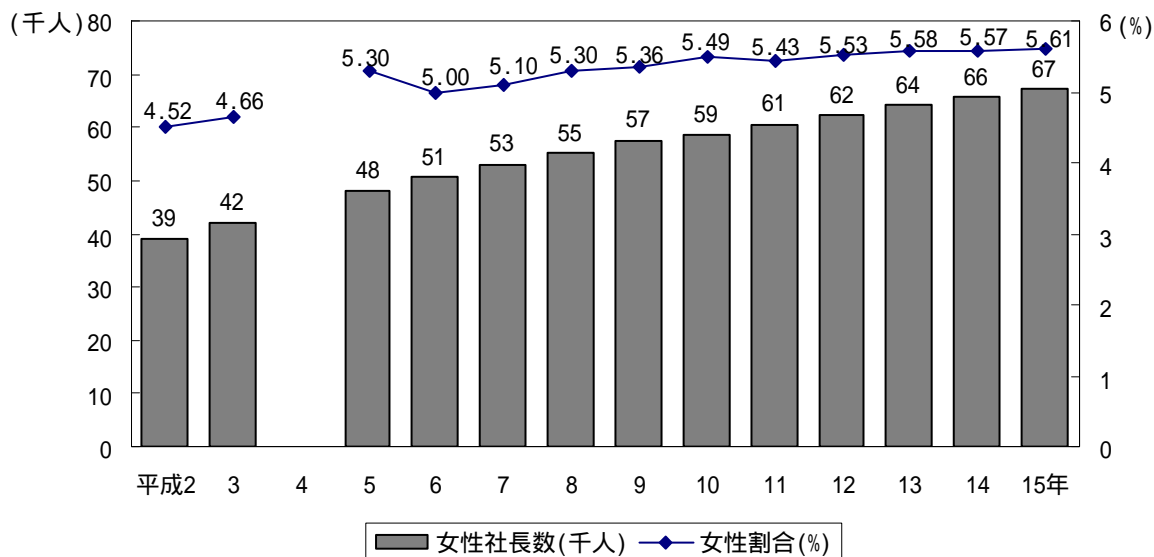
【図表 5-4】農業生産や生活に関わる会合への女性の出席状況



資料) 千葉県農林水産部「千葉県農山漁村男女共同参画実態調査報告書」(平成 14 年 12 月)

女性社長数は増加傾向にある。

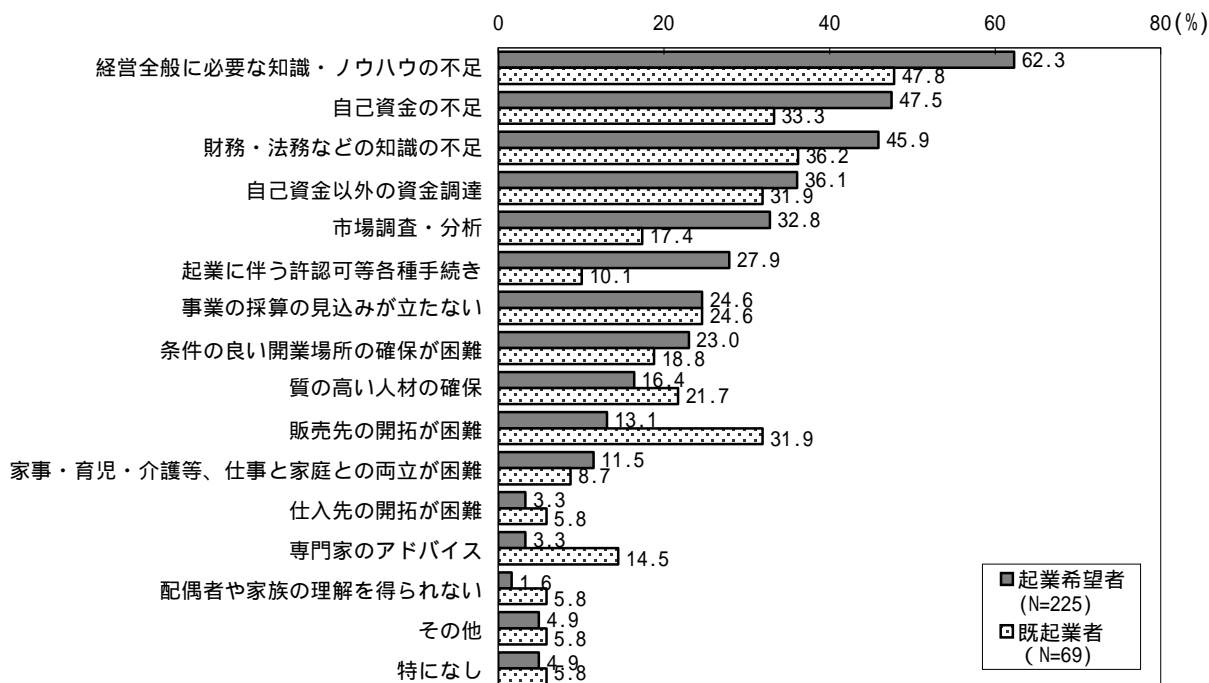
【図表 5-5】女性社長数とその割合の推移（全国）



資料) 株式会社帝国データバンク資料

女性の起業に際し、経営全般に必要な知識やノウハウの不足が悩みとなっている。

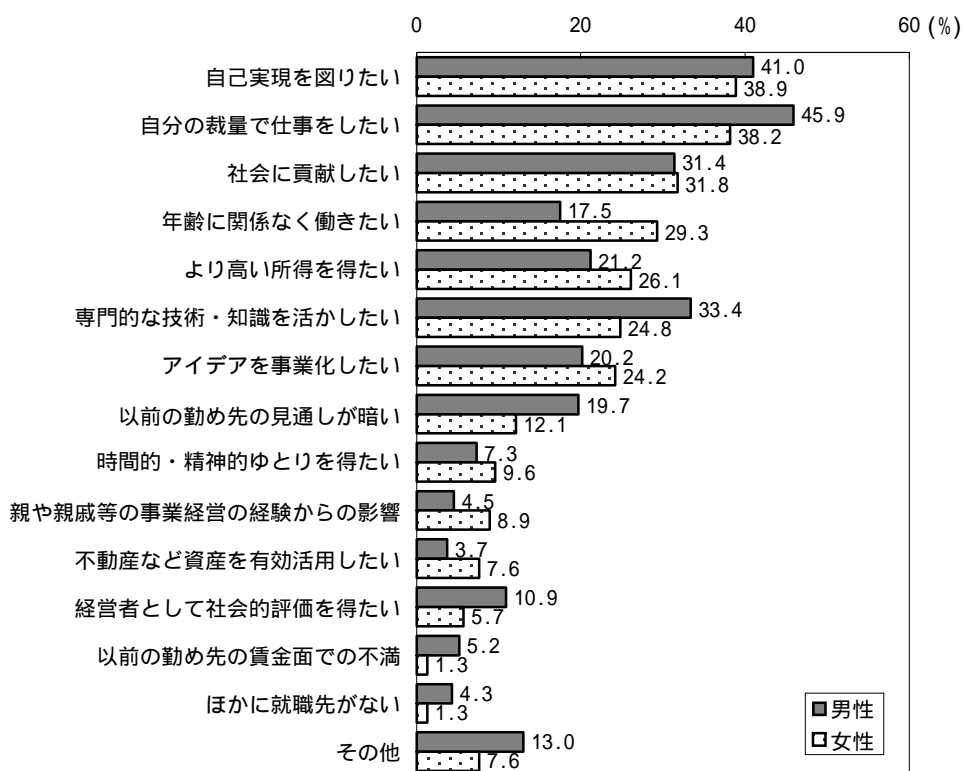
【図表 5-6】女性の起業に関する悩み（全国）



資料) 女性と仕事の未来館「女性の起業に関するアンケート調査」(平成15年1月)

「年齢に関係なく働きたい」という動機は、女性創業者に顕著である。

【図表 5-7】 創業者の創業動機（全国）



資料) 中小企業庁「創業環境に関する実態調査」(平成13年12月)

(6) 家庭生活と職場や地域の活動等を円滑に行えるような支援

妻の就業状況に関係なく、夫の家事・育児時間は短い。

【図表 6-1】妻の就業状況別、夫の仕事・家事・育児時間（夫婦と子ども世帯の生活時間）

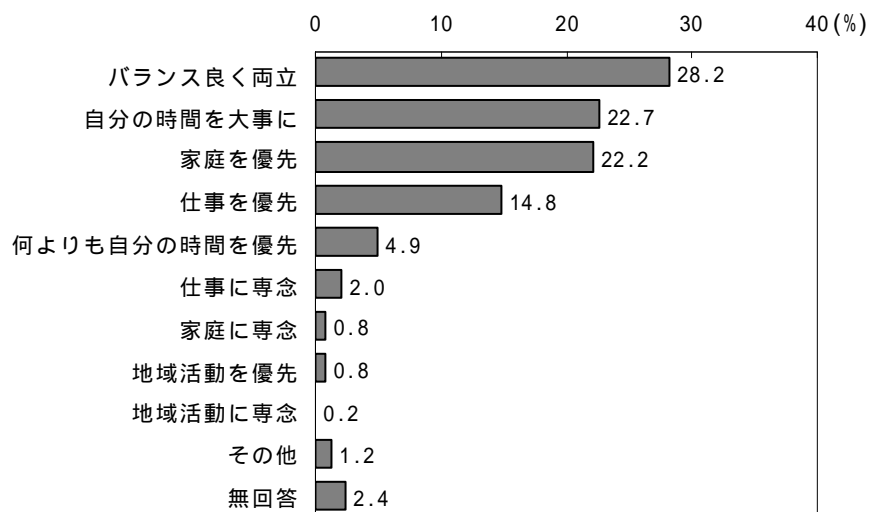
|         | 仕事   |      | 家事   |      | 育児   |      |
|---------|------|------|------|------|------|------|
|         | 共働き  | 片働き  | 共働き  | 片働き  | 共働き  | 片働き  |
| 昭和 61 年 | 7:44 | 7:24 | 0:12 | 0:11 | 0:03 | 0:06 |
| 平成 3 年  | 7:36 | 7:14 | 0:16 | 0:17 | 0:03 | 0:08 |
| 平成 8 年  | 7:26 | 7:12 | 0:17 | 0:19 | 0:03 | 0:08 |
| 平成 13 年 | 7:13 | 7:14 | 0:21 | 0:22 | 0:05 | 0:13 |

「家事」とは、家事、介護・看護および買い物にかかる時間の合計

資料) 総務省「社会生活基本調査」

理想のライフスタイルとして、バランス良く両立したいと考える男性が最も多い。

【図表 6-2】理想とするライフスタイル（20 歳以上の男性）

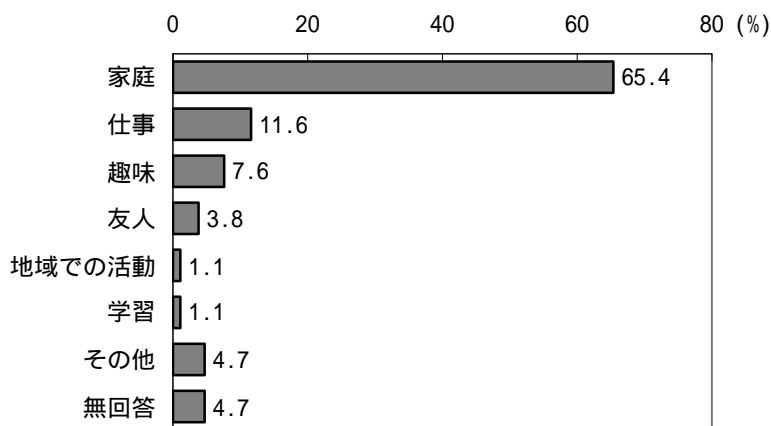


資料) 千葉市女性センター「男性の生活と仕事に関する意識調査」(平成 16 年 1 月)



生きる上で大切なことは「家庭」と考える男性が最も多い。

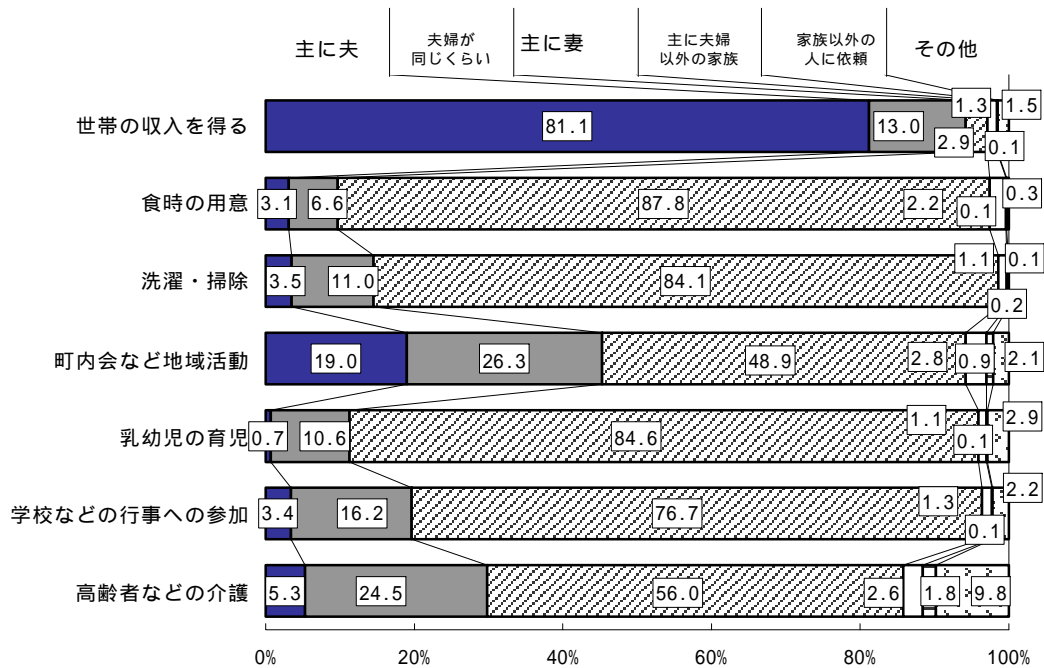
【図表 6-3】生きる上で大切なこと（20歳以上の男性）



資料) 千葉市女性センター「男性の生活と仕事に関する意識調査」(平成16年1月)

世帯収入は主に男性が稼ぎ、家事や育児は主に女性が行うことが多い。

【図表 6-4】家庭生活における仕事の分担（配偶者やパートナーのいる人のみ）



資料) 「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成16年3月)

夫婦の働き方について「性別にかかわらず、働いて家計を支える責任がある」と考える人が最も多い。

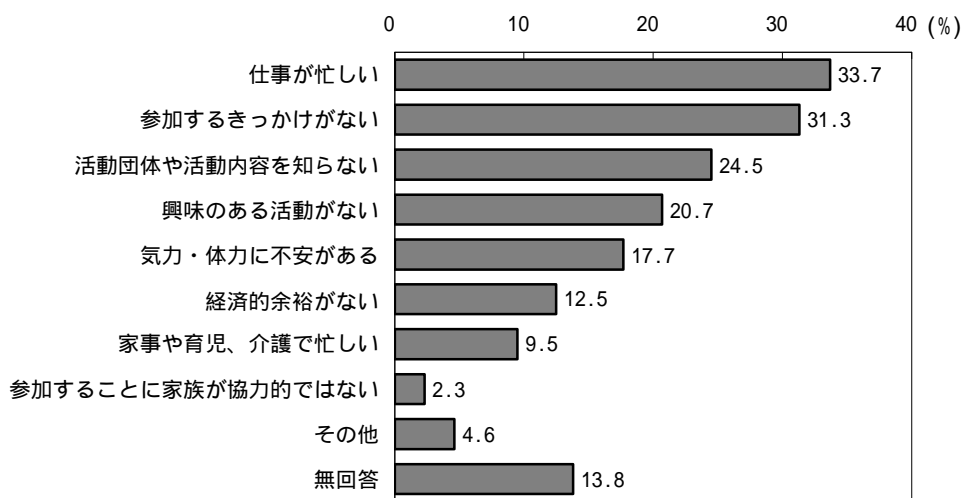
【図表 6-5】夫婦の働き方

| (%) |    | 男女とも<br>支える責任<br>がある | 専業主夫<br>も理解する | 収入の<br>高い男性<br>がよい | 男性も<br>家事や<br>育児、<br>介護に<br>参画 | 男性<br>ひとり<br>で家計<br>を支え<br>るのは<br>負担 | 女性<br>はパート<br>タイム<br>労働が<br>よい | わから<br>ない | その他 | 無回<br>答 |
|-----|----|----------------------|---------------|--------------------|--------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|-----------|-----|---------|
| 性別  | 全体 | 49.2                 | 32.0          | 31.6               | 30.3                           | 27.6                                 | 21.8                           | 3.3       | 6.8 | 2.4     |
|     | 男性 | 41.1                 | 26.4          | 36.7               | 26.4                           | 23.6                                 | 24.4                           | 3.3       | 6.7 | 1.6     |
|     | 女性 | 56.5                 | 37.2          | 27.5               | 34.4                           | 31.9                                 | 19.2                           | 3.1       | 7.1 | 2.0     |

資料)「千葉県男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

地域活動に参加する上で、仕事の忙しさやきっかけ不足などが支障となっている。

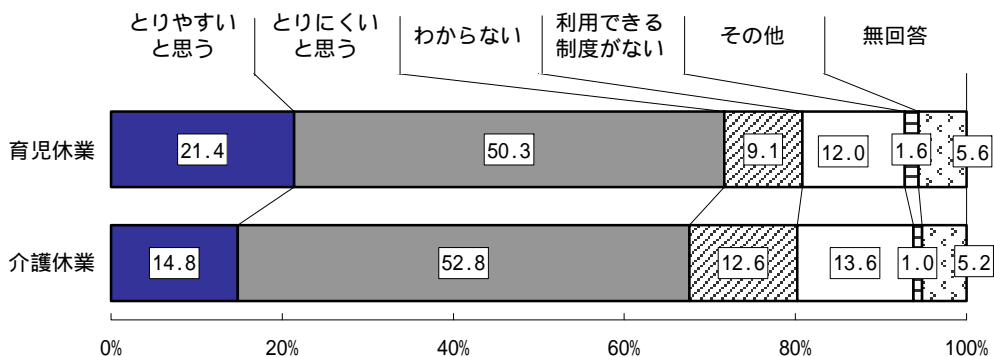
【図表 6-6】地域活動に参加する際に支障となること



資料)「千葉県男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

育児休業や介護休業をとりにくいと感じている雇用者が5割を超えている。

【図表 6-7】 育児休業や介護休業をとりにくい職場環境の有無（雇用者）



資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成16年3月)

育児休業の取得率は圧倒的に女性が高い。

企業規模が小さいほど、育児休業や介護休業の取得率が低下する。

【図表 6-8】 育児休業や介護休業の取得率（全国）

| 〔育児休業〕 |          | 〔介護休業〕 |      |
|--------|----------|--------|------|
|        |          | 男性     | 女性   |
| 平成11年度 |          | 0.42   | 56.4 |
| 平成14年度 |          | 0.33   | 64.0 |
| 規模別    | 500人以上   | 0.13   | 77.2 |
|        | 100～499人 | 0.06   | 75.9 |
|        | 30～99人   | 0.02   | 64.2 |
|        | 5～29人    | 0.53   | 55.6 |

資料)厚生労働省「女性雇用管理基本調査」

20歳代の約5割が、子育ての金銭的負担や仕事との両立に不安を感じている。

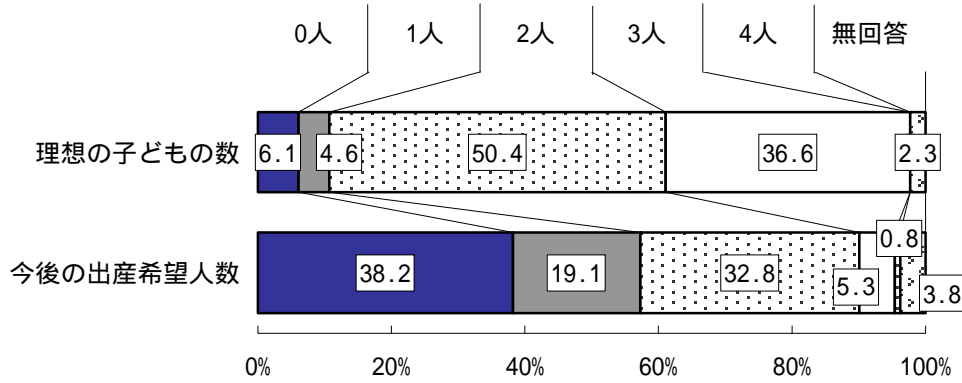
【図表 6-9】 結婚や子育てに対する不安

| 年代別   | 不安はない (%) | お金の負担がかかる | 自由な時間が減る | 子育て施設等の不足 | 自由なお金が減る | 仕事と子育ての両立への不安 | 十分ない収入 | 周囲の期待が負担 | その他 | 無回答  |
|-------|-----------|-----------|----------|-----------|----------|---------------|--------|----------|-----|------|
|       |           |           |          |           |          |               |        |          |     |      |
| 全体    | 33.2      | 31.5      | 24.4     | 22.7      | 21.4     | 20.2          | 19.0   | 8.1      | 3.3 | 5.1  |
| 20歳代  | 6.7       | 51.1      | 42.1     | 28.7      | 43.8     | 46.1          | 47.8   | 14.0     | 3.4 | 2.2  |
| 30歳代  | 16.9      | 44.2      | 42.7     | 29.6      | 36.2     | 28.5          | 23.1   | 15.0     | 4.6 | 1.5  |
| 40歳代  | 29.8      | 32.7      | 31.5     | 25.0      | 27.8     | 19.4          | 12.5   | 12.9     | 5.2 | 1.6  |
| 50歳代  | 39.8      | 27.9      | 18.6     | 23.0      | 15.1     | 15.1          | 13.1   | 5.5      | 2.3 | 4.4  |
| 60歳代  | 49.4      | 22.6      | 9.5      | 18.2      | 7.7      | 9.8           | 16.1   | 2.7      | 2.4 | 5.4  |
| 70歳以上 | 45.0      | 17.8      | 11.7     | 13.3      | 9.4      | 12.8          | 12.2   | 1.7      | 2.2 | 15.0 |

資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成16年3月)

理想の子ども数は「2人」が最も多いが、今後の出産希望人数は「0人」が最も多い。

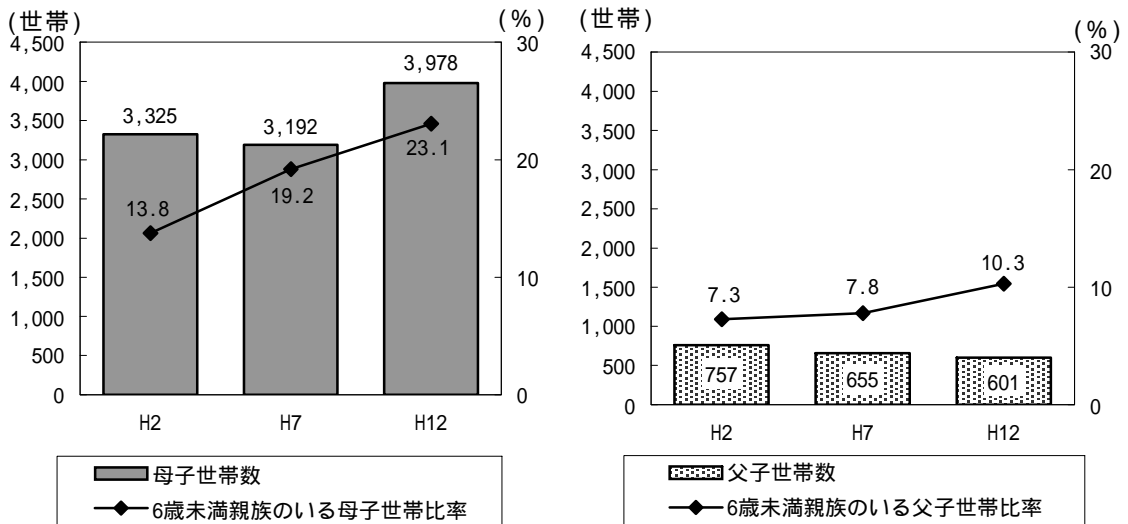
【図表 6-10】20 歳代、30 歳代における理想の子ども数と今後の出産希望人数



資料)「千葉市子育て環境に関するアンケート」(平成 16 年 3 月)

6 歳未満親族のいるひとり親世帯が増えている。

【図表 6-11】ひとり親世帯数とそのうち 6 歳未満親族のいるひとり親世帯数



資料)「千葉市統計書」

母子家庭の平均所得は 209 万円、中央値は 160 万円と低水準にある。

【図表 6-12】母子家庭における仕事からの年収

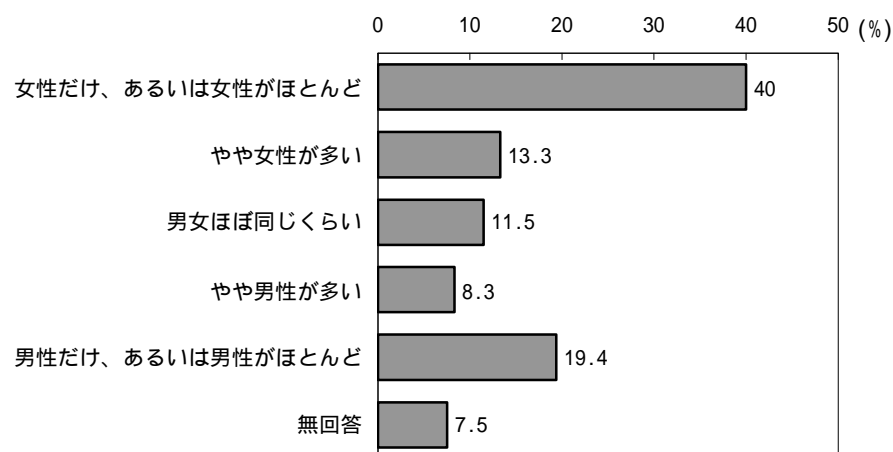
|                  | 回答者数<br>(人) | 回答割合<br>(%) |
|------------------|-------------|-------------|
| 100万円未満          | 38          | 17.2        |
| 100万円以上200万円未満   | 83          | 37.6        |
| 200万円以上300万円未満   | 56          | 25.3        |
| 300万円以上400万円未満   | 21          | 9.5         |
| 400万円以上500万円未満   | 7           | 3.2         |
| 500万円以上600万円未満   | 7           | 3.2         |
| 600万円以上700万円未満   | 4           | 1.8         |
| 700万円以上800万円未満   | 1           | 0.5         |
| 800万円以上900万円未満   | 1           | 0.5         |
| 900万円以上1,000万円未満 | 2           | 0.9         |
| 1,000万円以上        | 1           | 0.5         |
| 合計               | 221         | 100.0       |
| 平均所得             |             | 209万円       |
| 中央値              |             | 160万円       |
| 無回答              | 44          |             |

資料)「ひとり親家あんしんプラン」策定のための事前アンケート調査(平成15年9月)

(7) 男女共同参画を推進する民間団体との連携と支援

市民活動団体の約4割が、女性だけあるいは女性がほとんどの事務局スタッフで運営されている。

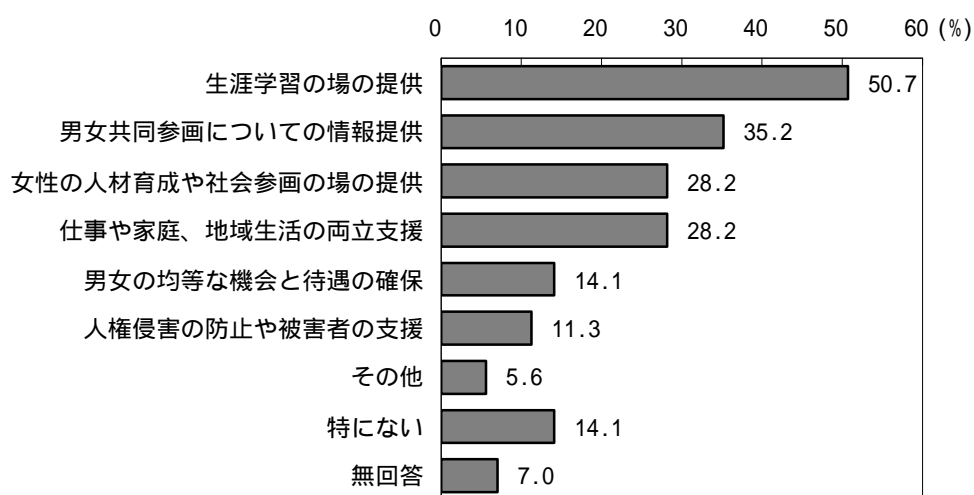
【図表 7-1】市民活動団体における事務局スタッフの性別（全国）



資料) 内閣府委託調査「市民活動団体等基本調査」より作成

民間団体には、「生涯学習の場の提供」や「男女共同参画についての情報提供」の役割が期待できる。

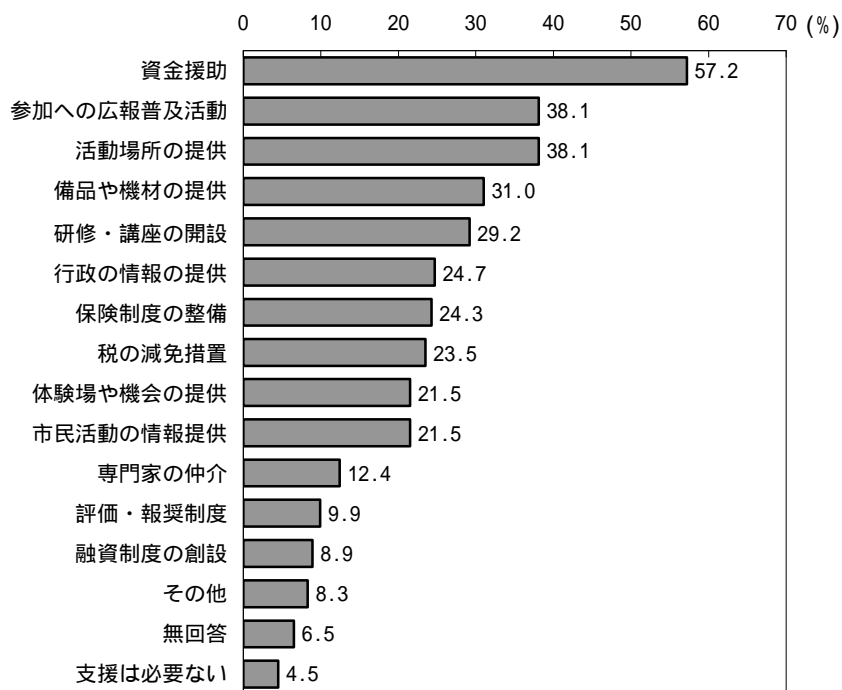
【図表 7-2】男女共同参画の推進に向けて、民間団体が果たす役割（民間団体）



資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成16年3月)、71団体対象。

NPO 法人や任意団体は、資金援助や参加への広報普及活動などを市に期待している。

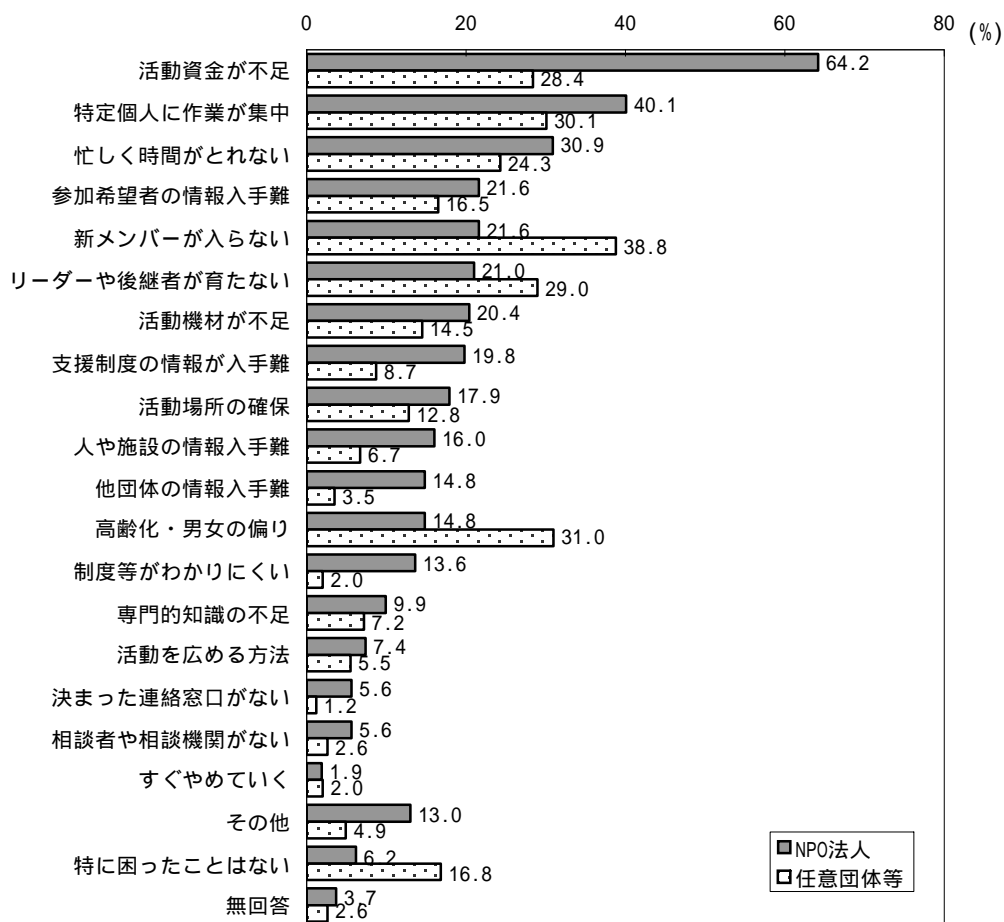
【図表 7-3】NPO 法人や任意団体等が必要と感じている市の支援（千葉県）



資料) 千葉県委託調査「NPO アンケート調査」(平成 14 年 8 月)

NPO法人は「活動資金不足」、任意団体は「新メンバー不足」や「高齢化、男女の偏り」について、それぞれ活動上の課題と考えている。

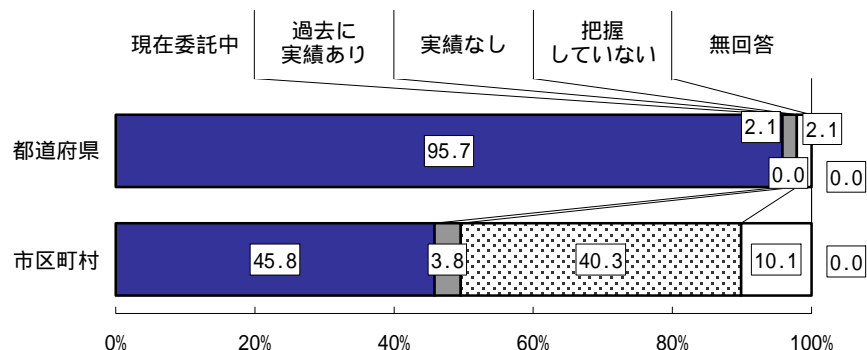
【図表 7-4】NPO法人や任意団体等における活動上の課題（千葉県）



資料) 千葉県委託調査「NPO アンケート調査」(平成 14 年 8 月)

ほとんどの都道府県と約 5 割の市区町村において、NPO への事業委託が行われている。

【図表 7-5】地方自治体における NPO への事業委託の有無（全国）



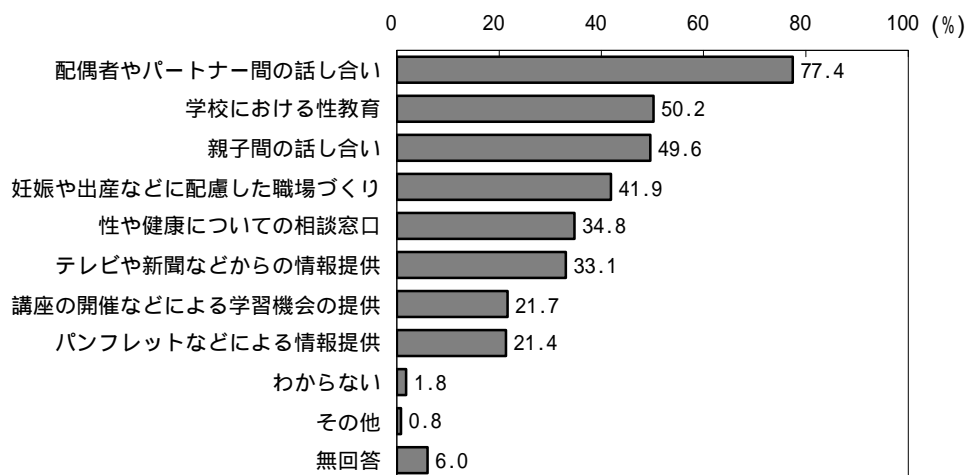
資料) 千葉県委託調査「NPO 立県千葉実現のための基礎調査 - 地方自治体の NPO 支援策等に関する実態調査」(平成 15 年 3 月)



(8) 生涯にわたる心身の健康と性に関する理解への支援

家族での話し合いや学校教育などを通じて、互いの性や健康への理解が深まると考える人が多い。

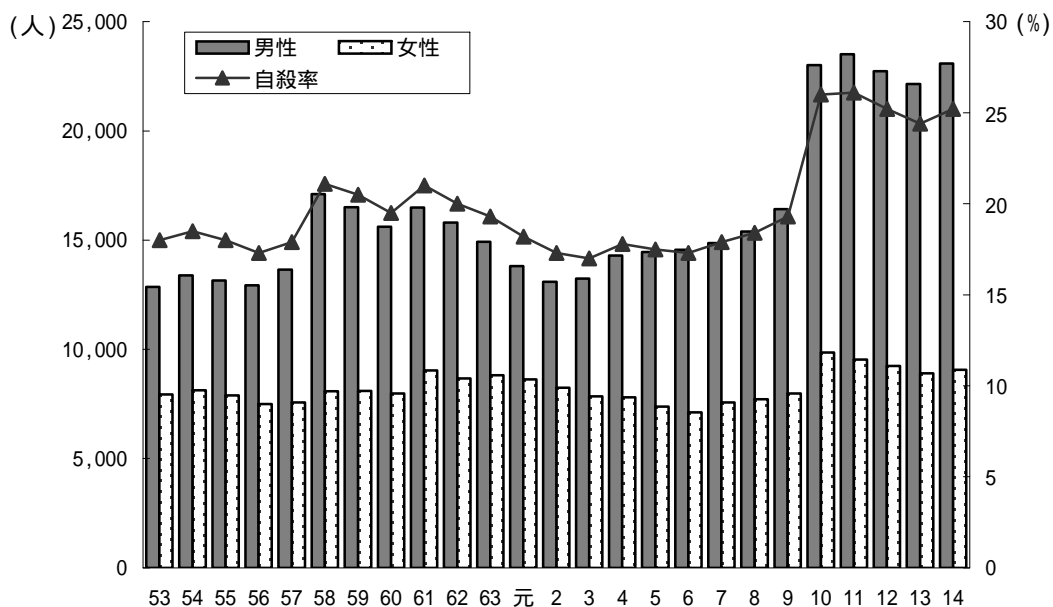
【図表 8-1】男女が互いの性や健康を理解するために大切なこと



資料)「千葉市男女共同参画社会に関する調査」(平成 16 年 3 月)

平成 10 年以降、自殺率が上昇し、男女ともに自殺者数が増えている。  
自殺者数は特に男性に多い。

【図表 8-2】自殺者数と自殺率の推移 (全国)



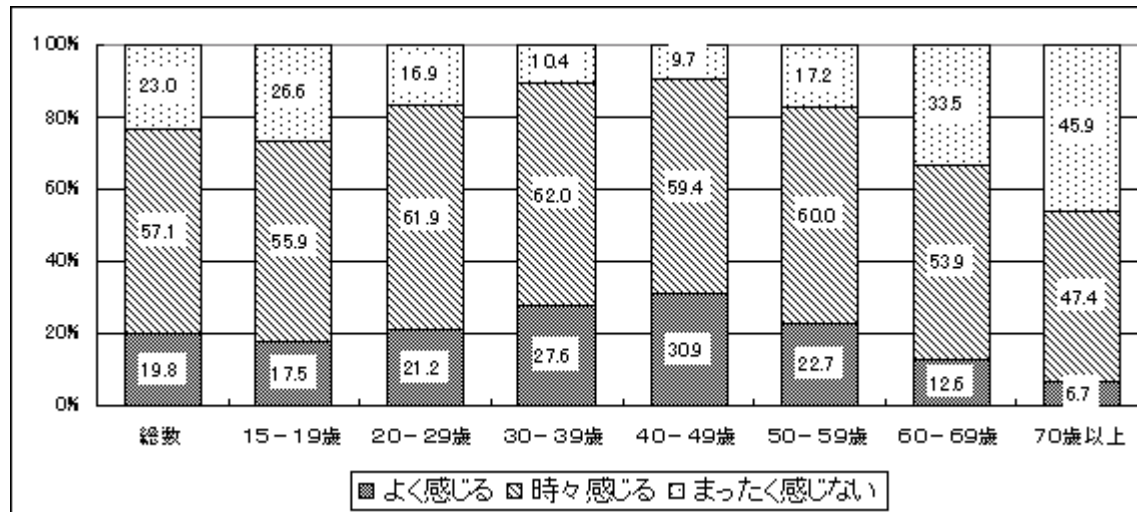
資料) 警察庁「平成 14 年中における自殺の概要資料」(平成 15 年 7 月)

(自殺率 = 自殺者数 ÷ 人口 × 100,000 (人口は、総務省統計局の人口推計月報 (毎年 10 月 1 日現在) の総人口に基づく。)

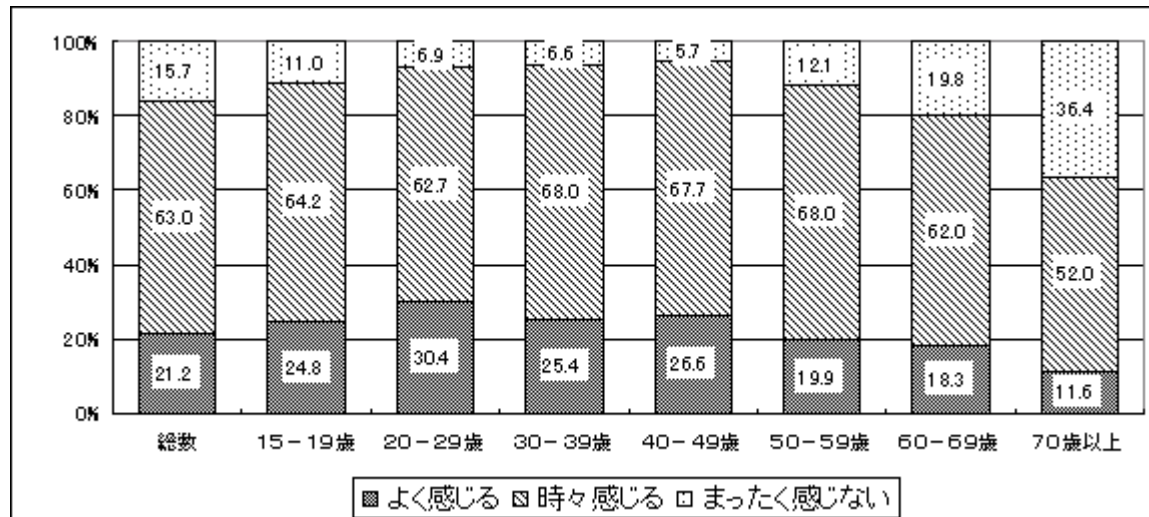
40歳代男性と20歳代女性では、ストレスをよく感じる人が3割を超えている。

【図表 8-3】 普段の生活でストレスを感じる人の割合（全国）

男性



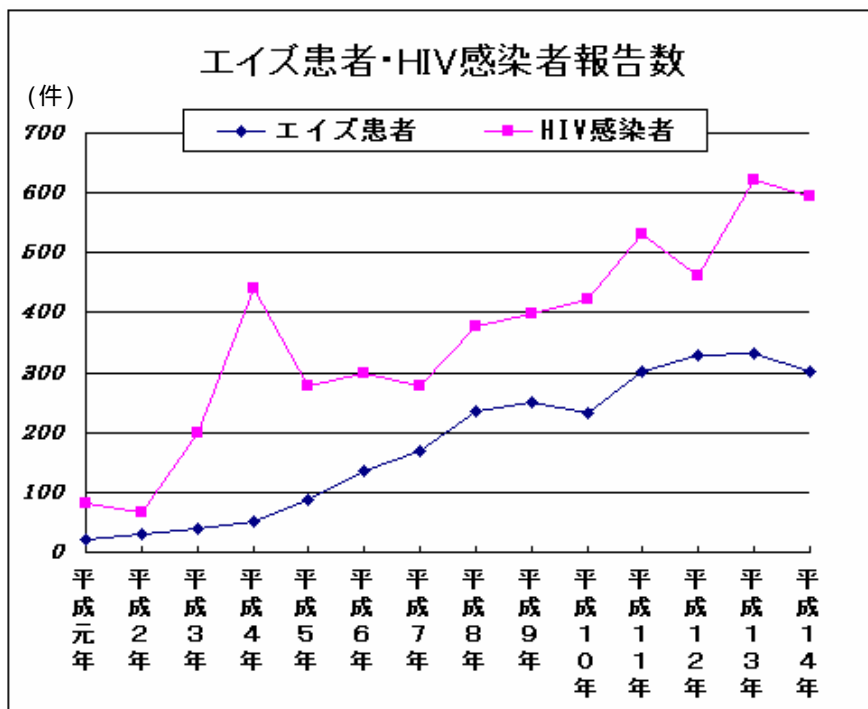
女性



資料) 厚生労働省「国民栄養調査」(平成14年度)

エイズ患者および HIV 感染者数が、増加傾向にある。

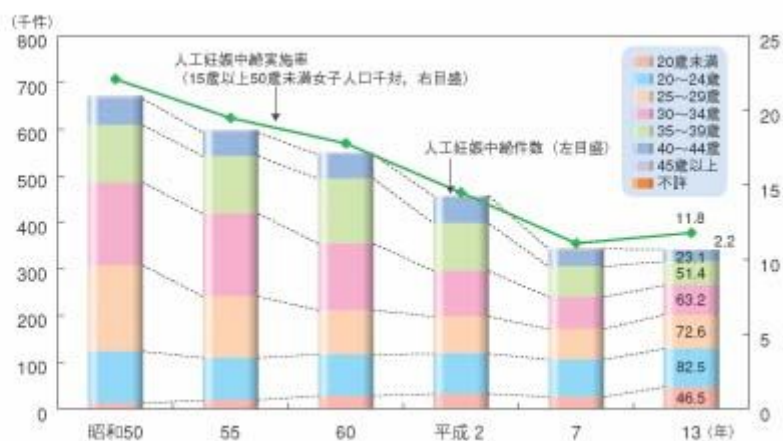
【図表 8-4】エイズ患者・HIV 感染者数の推移（全国）



資料) 厚生労働省発表

若年層の人工妊娠中絶件数が増加傾向にある。

【図表 8-5】年齢階級別にみた人工妊娠中絶の推移

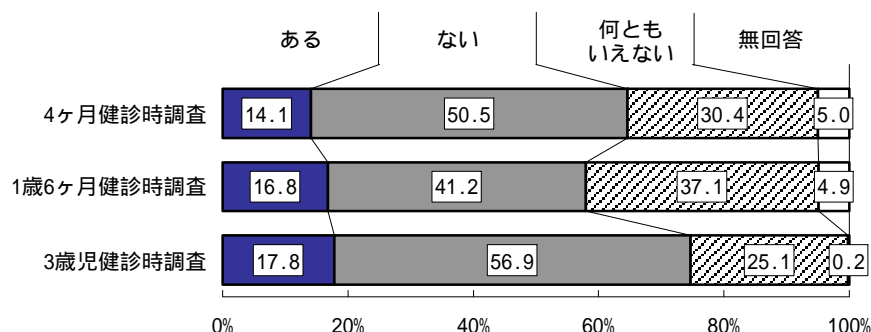


(備考) 厚生労働省「母体保護統計」より作成。

平成 14 年度の人工妊娠中絶実施率 (15 歳以上 50 歳未満女子人口千対) は 11.4%

育児にいいようのない不安を感じる人は約1~2割である。

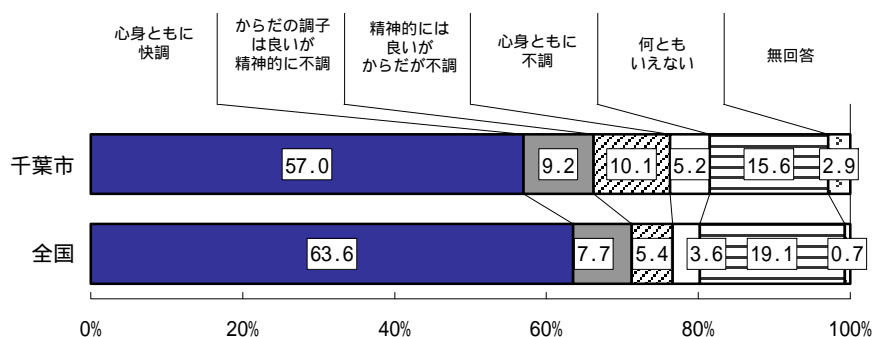
【図表 8-6】 育児不安の有無（乳幼児を持つ母親）



資料) 千葉市「健やか親子（母子保健）実態調査」（平成 15 年 7 月）

全国と比べて、心身ともに健康と感じている母親が少ない。

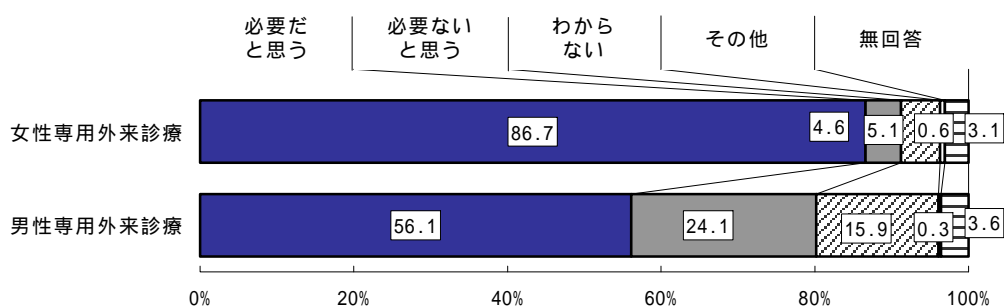
【図表 8-7】 母親の気持ちやからだの調子（千葉市、全国）



資料) 「健やか親子（母子保健）実態調査」（平成 15 年）、「平成 12 年度幼児健康度調査」

女性専用外来診療の必要性は約9割、男性専用外来診療の必要性は約6割である。

【図表 8 - 8】 女性専用や男性専用の外来診療についての考え方



資料) 「千葉市男女共同参画社会に関する調査」（平成 16 年 3 月）

更年期や性に由来する病気への情報提供を求める人が多い。

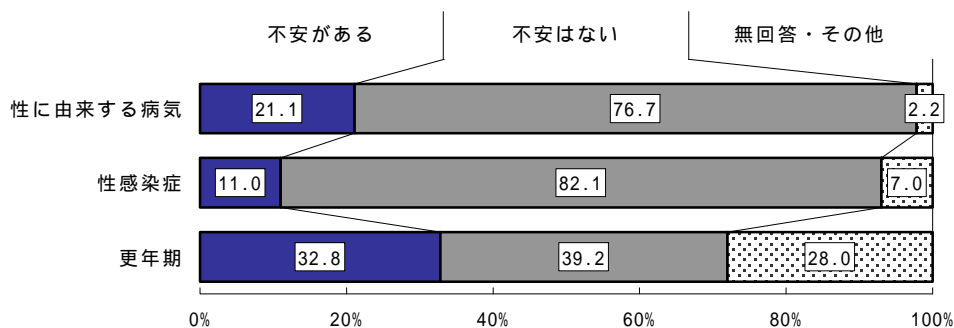
【図表 8-9】性に関して知りたいこと (%)

|                           | 全体<br>(N=546) | 男性<br>(N=219) | 女性<br>(N=325) |
|---------------------------|---------------|---------------|---------------|
| (女性の)更年期                  | 32.6          | 16.9          | 43.4          |
| (男性の)更年期                  | 31.0          | 42.0          | 23.7          |
| 女性に生じる病気(子宮内膜症、乳がん、子宮がん等) | 29.7          | 14.2          | 40.0          |
| 男性に生じる病気(前立腺炎、精巣がん等)      | 29.5          | 43.4          | 20.3          |
| エイズの知識                    | 14.5          | 17.8          | 12.3          |
| 性感染症の知識                   | 13.7          | 14.2          | 13.5          |
| 性に関する不安や悩みについての相談機関       | 12.5          | 9.1           | 14.8          |
| インターセクシュアル(半陰陽)           | 11.9          | 9.1           | 13.8          |
| アセクシュアル(性的欲求のないこと)        | 11.9          | 12.3          | 11.7          |
| セックスレス                    | 9.9           | 12.3          | 8.3           |

資料) 千葉市女性センター「性に関する意識調査」(上位10項目)

更年期に不安を感じる人が約3割、性に由来する病気や性に由来する病気への不安を感じる人が約2割いる。

【図表 8-10】性に由来する病気、性感染症、更年期への不安の有無



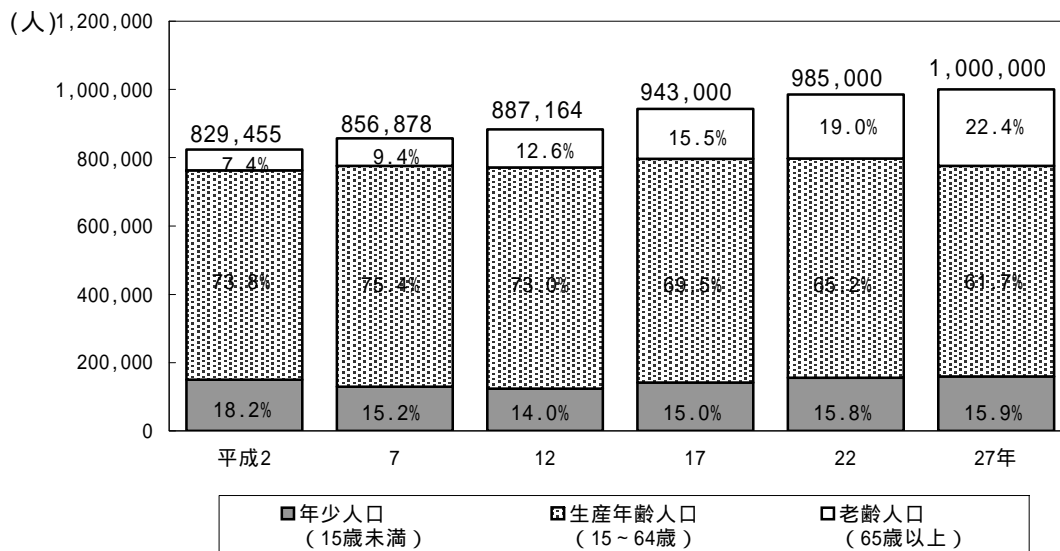
資料) 千葉市「保健医療計画策定の基礎調査」

更年期)「不安がある」: 非常に不安、やや不安。「不安はない」: 不安はない、あまり不安はない

「無回答・その他」: どちらともいえない、わからない、無回答の合計

少子高齢化の進展が予測されている。

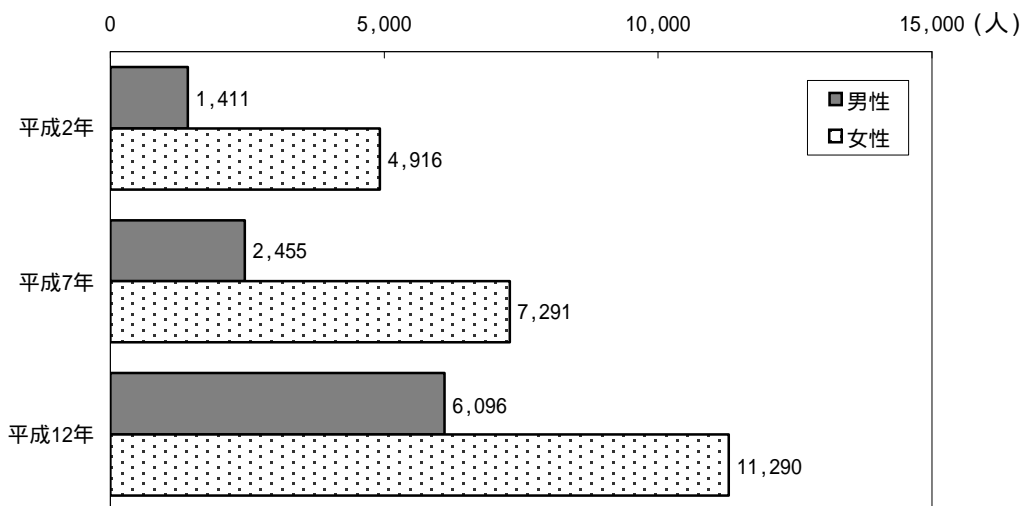
【図表 8-11】年齢 3 区分別人口構成の推移



資料) 総務省「国勢調査報告」(～平成12年)、「ちば・ビジョン21」(平成17年～)

女性を中心に、高齢単身者が増えている。

【図表 8-12】65 歳以上の高齢単身者数の推移



資料)「国勢調査報告」

人口の高齢化とともに、要介護及び要支援認定者の割合の増加が予測されている。

【図表 8-13】要介護及び要支援認定率

|                        | 12年度    | 13年度    | 14年度    | 15年度    | 16年度    | 17年度    | 18年度    | 19年度    |
|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 高齢者人口(人)<br>(第1号被保険者数) | 108,994 | 116,612 | 124,431 | 131,537 | 138,332 | 146,375 | 155,493 | 164,752 |
| 高齢化率(%)                | 12.29   | 13.02   | 13.75   | 14.28   | 14.84   | 15.51   | 16.28   | 17.07   |
| 要介護(要支援)<br>認定者数(人)    | 9,882   | 12,096  | 14,683  | 16,736  | 18,106  | 19,536  | 21,098  | 22,648  |
| 認定率(%)                 | 8.58    | 9.81    | 11.19   | 12.10   | 12.47   | 12.76   | 13.00   | 13.21   |

資料)「千葉県高齢者保健福祉推進計画」(平成15年3月)

高齢化率:「第1号被保険者÷総人口」で求めた割合

認定率:「第1号被保険者の要介護(要支援)認定者数÷第1号被保険者数」で求めた割合

身体障害者手帳交付人数が増えており、千葉県や全国と比べて5年間の伸び率も高い。

【図表 8-14】身体障害者手帳交付台帳登録数の推移

|     | 平成9年度     | 平成10年度    | 平成11年度    | 平成12年度    | 平成13年度    | 平成14年度    | (%)<br>5年間の<br>伸び率 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------------|
| 千葉市 | 16,111    | 17,251    | 18,425    | 19,361    | 20,311    | 21,165    | 31.4               |
| 千葉県 | 94,498    | 97,896    | 101,583   | 105,553   | 108,666   | 110,600   | 17.0               |
| 全国  | 3,954,493 | 4,082,568 | 4,199,035 | 4,292,761 | 4,373,295 | 4,448,948 | 12.5               |

資料)厚生労働省「厚生省報告例」、「福祉行政報告例」